

第五十二回
帝國議會
衆議院

登録稅法中改正法律案外三件 委員會會議錄(速記)第十三回

會議

昭和二年二月二十五日(金曜日)午前十時四十五分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 武藤 金吉君

理事 奧村 千藏君

理事 高橋熊次郎君

理事 清水 長郷君

木檜三四郎君 森田 茂君

神部 爲藏君 斯波 貞吉君

村山喜一郎君 永田善三郎君

西脇 晋君 堀切善兵衛君

山本 芳治君 長田 桃藏君

木暮武太夫君 三善 清之君

岩切 重雄君 禰 苗代君

丹下茂十郎君 沼田嘉一郎君

出席國務大臣左ノ如シ

農林大臣 町田 忠治君

商工大臣 藤澤幾之輔君

出席政府委員左ノ如シ

大藏政務次官 武内 作平君

大藏省主稅局長 黑田 英雄君

農林政務次官 小山 松壽君

農林參與官 高田 耘平君

商工政務次官 柵瀬軍之佐君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

登録稅法中改正法律案(政府提出)

印紙稅法中改正法律案(政府提出)

砂糖消費稅法中改正法律案(政府提出)

關稅定率法中改正法律案(政府提出)

商事非訟事件印紙法中改正法律案(政府提出)

營業收益稅法中改正法律案(湯淺凡平君提出)

清涼飲料稅法中改正法律案(湯淺凡平君提出)

不在地主稅法案(清瀨一郎君外一名提出)

登録稅法中改正法律案(猪野毛利榮君外二名提出)

關稅定率法中改正法律案(小池仁郎君外十八名提出)

關稅定率法中改正法律案(東武君外十二名提出)

果物罐詰原料砂糖戻稅法案(中村嘉壽君提出)

明治四十年法律第二十一號中改正法律案(樺太ニ於ケル租稅ニ關スル件)(政府提出)

○武藤委員長 會議ヲ開キマス、今日ハ大體質問ヲ終リタイト思ヒマス、大抵御發言ニナツテ居リマスガ、マダ御發言ヲシナイ方モ、一人二人アリマスケレドモ、質疑ノ要旨ヲ、又政府ノ方ノ答辯ニ於テモ時間ガゴザイマセヌカラ、成ルベク簡明ニ審議ヲ御進メアランコトヲ委員長ヨリ御願申シマス

○木暮委員 大藏當局ニ御質問申上ゲマスルガ、此間ノ町田農林大臣ノ禱君ニ對スル御答辯ヲ拜聽致シマシタ所ニ依リマスルト、第一種糖ノ消費稅ヲ甲ハ半減シ、乙丙ハ五十錢減シタト云フコトハ、主トシテ沖繩地方ニ於ケル糖業者ノ利益保護ニアルヤウナ風ニ聞エ

付託議案

登録稅法中改正法律案(政府提出)
印紙稅法中改正法律案(政府提出)
砂糖消費稅法中改正法律案(政府提出)
關稅定率法中改正法律案(政府提出)
商事非訟事件印紙法中改正法律案(政府提出)
營業收益稅法中改正法律案(湯淺凡平君提出)
清涼飲料稅法中改正法律案(湯淺凡平君提出)
不在地主稅法案(清瀨一郎君外一名提出)
登録稅法中改正法律案(猪野毛利榮君外三名提出)
關稅定率法中改正法律案(小池仁郎君外十八名提出)
關稅定率法中改正法律案(東武君外十二名提出)
果物罐詰原料砂糖戻稅法案(中村嘉壽君提出)
明治四十年法律第二十一號中改正法律案(樺太ニ於ケル租稅ニ關スル件)(政府提出)

マシタガ、本會議其他ニ於ケル所ノ大藏大臣ノ御説明ヲ聽クト、第一種糖ノ甲ヲ半減シ、乙丙ヲ五十錢減シタト云フコトハ、消費者ノ利益、社會政策的ノ意味ヲ持ツテ居ルノダト云フコトヲ仰シヤイマシタガ、是ハ何方ヲ主トシタモノデアルカ、之ヲ先ヅハッキリ伺ヒタ

○黒田政府委員 第一種糖ノ甲、樽入黒糖ヲ半減シ、乙丙ヲ五十錢減稅ヲ致シタノハ、主トシテ是等ノ砂糖ノ消費

者ハ、所謂中産階級以下ニ使用サレルコトガ多イト云フ點ヲ考慮致シマシ

テ減稅ヲ致シタノデアリマス、併ナガラソレト同時ニ一面ニ於キマシテハ、

減稅ヲスルト云フコトハ、一方ニハ生産者ノ上ニモ相當ナ便益ヲ與ヘルコト

デアラウト云フコトヲ大藏大臣モ本會議デ申サレタノデアリマシテ、即チ樽

入黒糖ニ付テ見マスレバ、樽入黒糖ハ今日二圓ノ稅ヲ負擔シテ居ル、是ガ一

圓ニナルト云フコトニ付テハ、無論是

ハ消費者ニ轉嫁サレルモノデアリマス
ケレドモ、時ニハソレ等ノ税金ノ爲ニ
一時生産者ガ負擔ヲ受ケルト云フヤウ
ナコトモ免レルコトガ出來ルコトニナ
リマス、又消費者ノ方ニ於キマシテモ、
之ヲ輕減スルト云フコトハ、ソレ等ノ
使用ト云フコトガ容易ニナツテ來ルト云
フコトノ爲ニ、生産者モ延イテ利益ヲ
受ケルダラウト云フ風ニ考ヘテ居ルノ
デアリマス

○木暮委員 併シ此間ノ町田農林大臣
ノ禱君ニ對スル御説明ダト、大分、沖繩
縣地方ニ於ケル糖業者ノ利益保護ト云
フコトヲ主トシテ仰シヤッタヤウデア
リマスガ、今御聽キスルトソレ以上ノ
重大ナ意味ハ、矢張大藏大臣ノ仰シヤッ
タ通り、社會政策の效果ヲ舉ゲルト云
フコトニアルノデスカ、ソレデ宜シイ
ノデスナ、サウシマス社社會政策の效果
ヲ舉ゲルト云フコトニナルト、甲ノ消
費稅ヲ半減致シタ、或ハ乙丙ヲ五十錢
減ジタト云フ結果ガ、砂糖ノ市價ノ上
ニ直接ニ影響ヲ來サナケレバ、社會政
策の效果ヲ舉ゲルト云フ目的ヲ達成ス
ルコトハ出來ナイ、砂糖ヲ扱フテ居ル人
ニ聞イテ見ルト、此位下ゲタノデハ外
ノ砂糖トノ相場關係デ其市價ガ低下シ
ナイト確信シテ居ルト云フコトヲ、砂
糖ヲ扱フテ居ル人カラ聞キマシタ、若シ、
サウナラバ折角此社會政策の效果ヲ
舉ゲヤウトシタ事ハ、唯其當業者ノ利
益保護ト云フ政府ノ所謂傍系の目的

ト云フコトニノミ副フコトニナリハセ
ヌカト思ヒマスガ、此點ハドウデアリ
マスカ

○黒田政府委員 第一種ノ甲ノ稅率ヲ
半減シ、乙丙ヲ五十錢下ゲマシタ其結
果ハ、消費稅ノ性質ト致シマシテ當然
砂糖ノ價額ニ影響シテ來ル、即チ消費
者ノ負擔ヲ輕減スルモノト考ヘテ居ル
ノデアリマス、併シソレハ必シモ一圓
ダケ直ニ價額ノ上ニ現ハレルカト申シ
マスレバ、ソレハ一時ニ一圓ト云フモ
ノガ現ハレヌコトモアリマセウ、ソレ
ハ從來生産シタモノ、或ハ取引ノ關係
カラ古イ物ヲ捌カナクチャナラヌト云
フ風ナ色ミナ關係ガアリマスカラ、直
ニ現ハレナイト致シマシテモ、ソレハ
自然ニ即チ消費稅ノ性質トシテサウ云
フ風ニ行クベキモノデアルト信ジテ居
ルノデアリマス、他ノ砂糖ノ關係カラ
シテサウイカヌト云フ御話ハ一寸諒解
致シマセヌデシタガ、或ハ二種糖其他
ノ砂糖或ハ五種糖ノ關係ト云フヤウナ
御話デモアラウカト考ヘマスガ、是等

ハ寧ロ一種糖ノ消費稅ヲ下ゲ、又現在
ノ五種糖ノ消費稅ヲ下ゲタ結果ハ、却
テ中間ノ砂糖ノ價額ヲ引下ゲル働キヲ
受ケルトハ思ヒマスガ、ソレニ依テ引
上ゲラレルト云フ働ハ受ケナイト思ヒ
マス、ソレ故ニ一時ノ現象トシテソレ
程下リマセヌデモ、自然ニサウ云フ風
ニ落付クモノト考ヘマス
○武藤委員長 一寸木暮君御待チ下サ

イ、此際農林大臣、商工大臣ガ貴族院ノ
豫算委員會ガアルニ拘ラズ、御繰合セ
テ御出席ニナツテ居リマスカラ、此兩大
臣ニ對シテノ殘ッテ居リマス部分ノ質
疑ヲ先ニ願ヒマシテ、審査ノ進行ヲ圖
リタイト思ヒマス、尙ホ續イテ木暮君
ヤツテモ宜シウゴザイマスケレドモ、少
シ御譲リヲ願ヒタイ、長田君

○長田委員 木材關稅ニ付テ質問ヲシ
テ宜シウゴザイマスカ
○武藤委員長 宜シウゴザイマス
○長田委員 農林大臣ニ御伺シタイノ
デアリマスガ、五十一議會ニ改訂サレ
マシタ木材關稅ニ對シテ、尙ホ帝國森
林會ナドハ之ニ満足ヲ致サナイデ、今
少シク關稅稅率ヲ上ゲテ貰ヒタイ、又
他ノ無稅ノモノニ對シテモ上ゲテ貰ヒ
タイト云フ希望ヲ以テ相當ノ努力ヲ致
シ、運動ヲ致シテ居ルノデゴザイマス、
私ハ其書類等モ拜見致シマシタ、又反
對ノ方面カラモ、外材ノ輸入協會ト
云フ方ノ側カラモ、之ニ對抗スル運動
ガ始ッテ居リマシテ、兩者ノ利害ノ相反
スル所ヲ其儘赤裸々ニ訴ヘテ參ッテ居
リマス、兩樣比較致シマシテ、私共ハマ
ダ關稅稅率ノ今少シク値上ラスル必要
ガアルノデハナカラウカト云フ風ニ考
ヘタノデアリマスガ、五十一議會ノ當
局者ノ御説明等ヲ伺ヒマシテ、或ハ今少
シク其成行ヲ見ルノガ正シイノカモ知
レマセヌケレドモ、私一二ノ點ニ付テ

此際ニ御伺ヲ致シテ置キタイト思ヒマ

ス、ソレハ結局公有林野、若クハ官行造
林其他ニ對スル御盡力ハ相當ニ吾ミモ
認メテ居ルノデアリマスケレドモ、兎
ニ角日本ノ林業ノ其半ハ矢張農村ノ副
業ト私共ハ見テ居ルノデアリマス、隨
テ農村ノ副業ノ側カラ觀察致シマシテ、
ドウシテモ此民有造林ノ増殖デゴザイ
マスガ、其方面ハ進ンデ農家ガ此造林
ヲシテ行クヤウナ方法ニ仕向ケルノデ
ナケレバ、ドウシテモ満足ニ我國ノ造
林計畫ト云フモノハ行ハレヌヤウニ考
ヘテ居リマス、此點ニ對シテ五十一議
會デモ屢説明サレマシタ通りニ、木材
ノ價格ヲ上ゲルト云フコトニ致シマ
シテ、例ハ關稅ヲ非常ニ高クシテ外
材ガ這入ラヌヤウニシテ、内國材ノミ
ノ價格ヲ暴騰セシムルト云フコトニス
レバ、所謂濫伐ニモ殆ド等シイヤウナ
多量ノ伐採ヲ試ムルダラウ、ソレガ直
ニ治水計畫ニモ大影響ヲ及ボシテ來ル
シ、有ユル點ニ影響ヲ及ボスノデア
カラ、ドウモ濫伐ヲ招キ易イト云フノ
デ、關稅ノ増額、造林ノ増殖ト云フヤウ
ナコトハ考ヘネバナラナイ、材木ノ暴
騰ト云フコトハ考ヘナケレバナラヌ、
斯ウ云フノデゴザイマス、併シ其半面
ニ又斯ウ云フコトヲ懇ヘテ居リマス、
今日民有林ヲ持ッテ居リマスル者ガ、所
要ノ金額ヲ得ル爲ニハ木材ガ廉ケレバ
餘計伐採シナケレバナラヌ、即チ價格
ノ廉イト云フ所カラ、其必要ニ迫ラレ
テ餘計伐採シナケレバナラヌト云フコ

ト云フコトニノミ副フコトニナリハセ
ヌカト思ヒマスガ、此點ハドウデアリ
マスカ

トヲ意味スルコトニナル、固ヨリ大正十二年三年此非常ナ震災等ノアリマシタ場合、若クハ非常ニ財界ノ好況デアリマシタ大正七八年ト云フヤウナ、アノ材木ノ暴騰時代ト云フヤウナコトガアリマスレバ、却テ濫伐等ガアルカモ知レマセヌケレドモ、現在ノ如キ經濟狀態ニ於テアノヤウナ暴騰時代ガ起ルトハ考ヘラレナイカラ、我國材木ノ價格ノ騰貴ト云フコトハ、却テ濫伐ヲ調節スルト云フコトニナリハセヌカト云フコトヲ當業者ガ説明シテ居ルノデアリマス、此點モ餘程考慮センケレバナラヌト思フテ居リマス、ソレカラ更ニ伺フテ置キタイノハ、五十一議會ニ於テ高田政務官ハ、山林局長ガ抽象的ノ言葉ヲ以テ此造林計畫若クハソレニ對スル補助等ヲシテ居ルト言ハレタニ拘ラズ、政務官トシテハ山林局長ガ左様ニ言ハレルニ拘ラズ、洵ニ貧弱ナル施設ダト自分ハ認メテ居ル、故ニ何レノ土地ヲ視察シテ見テモ結局民有林ノ増殖ハ、所謂木材ノ價格ガ相當ニ維持セラル、ト云フコトガ出來ルノデナケレバ、増殖ノ目的ヲ達スルコトガ出來ヌト思フト云フコトヲ、洵ニ高田政務官ハ喝破シテ居ラシヤル、洵ニ其通りダト思ヒマス、特ニ大臣、次官等モ能ク御了解ヲ戴イテ居ルノデゴザイマスガ、農産物ノ如キ天然産物、之ニ對シテ自然ノ儘ニ放置スルコトハ逆モ出來ナイカラ、農林當局ガ大ナル努力ヲシテ増殖ノ御盡力

ヲ仰イデ居ルコトハ、能ク中外共ニ認メテ居ルノデアリマスケレドモ、外カラ加ヘル所ノ注射ト申シマスカ、兎ニ角其獎勵保護ト云フコトハ、今一ツ其前ニ或ル大キナモノガナケレバナラス、ソレハ何カト云ヘバ其事業ヲ爲セバ即チ有利デアアル、農家ハ米ヲ作ル所謂耕作ヲスル、其耕作自體ガ、收入ガソレニ伴ウテ非常ニ殖エテ參ル、儲カルノデアルト云フ考ガ先決問題デハナイカト云フノデアリマスガ、丁度此林産物モ其通りデゴザイマシテ、矢張造林ヲスルト云フコトガ儲カルト云フ其施設ガ第一義デアツテソレサヘアレバ造林ノ慾望ト云フモノハ打チャツテ置イテモ當然起ツテ參ルノデアリマスガ、ソレニ摺テ加ヘテ農林省ガ保護獎勵ヲ加ヘテ増殖ノ目的ヲ達セラレルト云フコトニナル、斯様ニ實ハ高田參與官ノ御話ト共ニ私共ハ諒解シテ居ルノデアリマス、サウシテアルナラバ結局ノ問題ハ今日ノ關稅稅率ガ適當デアラウカ、安イダラウカト云フ問題ニナリマスノデ、此問題ニ對シマシテハ森林會ノ方カラ表ヲ以テ示シテ來テ居ルノデアリマス、物價指數ニ對シテモ木材ガ非常ニ價格ガ安イト云フコトヤ、或ハ外材ノ輸入ニ比例シテ内地材ガ非常ニ少イト云フコト、非常ニ價格ガ安クナツテ困ツテ居ルト云フ實情ハ表ヲ以テ示シテ居リマスガ、何トカ農林省ニ於カレテモ此木材ノ關稅稅率ヲ引上ゲルト云フコトニ

御贊成ニナルヤウナ御考ハナイノデアリマセウカ、又委員會等ニ於テモ左様ナ狀態ニナツテ居リマセヌデセウカ、伺フテ置キタイノデアリマス

○町田國務大臣 長田君ノ只今ノ御質問ハ至極御尤ト思ヒマス、昨年ノ關稅委員會ニ於キマシテモ、森林ノコトニ對シテ長イ御經驗ノアラセラレル長田君ヨリ色々御質問ガアリ、御意見ノアツタコトハ、私速記録ヲ拜讀致シテ居リマス、昨年ノ關稅改正ノ際ニ於テハ私深ク此問題ヲ研究スル機會ヲ得ナカッタノデアリマスガ、此度當局トナリマシタニ付キマシテハ日モ淺ウゴザイマスガ、何トカ日本ノ森林ノ根本政策ヲ立テナケレバ百年ノ悔ヲ殘スダラウ、食糧問題ノ根本政策ヲ立テルト同様ニ重大ナル意味ヲ持ツ此問題ヲ解決スルコトニ努力致シタイト云フ考ダケハ持テ居リマス、唯長田君ノ只今ノ御意見ノ中ニモ此方面ノ問題ニハ殊ニ造詣ガ深イ故ヲ以テ、長田君ノ御尋モ私共ガ考慮シテ居ルト同様ニ、利害輻輳シタ問題デアアルノデアツテ、一定ノ關稅政策ニ對シテモ頗ル利害ノ衝突シテ居ルコトヲバ能ク調和スルコトヲ致サナケレバ、解決ガ困難デアルヤウニ思ハレマス、私ガ斯ク申セバ長田君ニハ十分諒解アル筈デアルト思フ、又此利害ヲ調和スルニハ困難ナ問題ガ横ハツテ居ルノデアリマス、唯農林當局トシテ大體ニ於テハ昨年ノ關稅改正ノ際ニ從來

ノ板材ト申シマスカ、六十何種マデノ板材ノ關稅ニトツテ居ツタノヲ、昨年ノ改正ノ際ニ小角材ヲモ相當ノ率ニ於テ關稅ヲ課セルコトニ致シタト云フ此一事ニ於キマシテ、大體ニ於テ日本ノ植林ヲ獎勵シ、將來相成ルベクハ自給自足ニ達シタイ、其政策ヲ立テルニ付キマシデハ、獨リ關稅ノミニ依テ目的ヲ達スル譯ニ相成ラヌガ、相當ノ程度ニ於テハ内地森林事業ヲ保護獎勵スル爲ニ、關稅モ獎勵方法ノ一ツニナツテ居ルト云フ大體ノ趣意ハ認メテ居ルノデアリマス、唯只今御話ノ如ク、民間ノ當業者或ハ製材業者ノ側、或ハ森林會ヲ初メトシテ植林ヲ致シテ居ル方ノ側カラノ意見ガ二様ニ岐レテ居ルト云フコトハ、長田君ガ今御話ノ通りニ私モ大體承知致シテ居ルノデアリマス、前申ス通り農林省ハ關稅ニ依テ保護スルコトモ、日本ノ將來ノ森林ノ爲ニハ相當ノ效果ガアルト認メテ居ルコトハ勿論デアリマスガ、昨年ノ改正ニ依テ小角材マデ擴ゲマシタ範圍ヲ一年ノ間ニ更ニ之ヲ擴メテ、丸太マデ關稅ヲ課クルコトガ必要デアルカ否カニ對シテハ、目下審議中デゴザイマス、其取調ノ結果或ハ御意見ノ如ク丸太ニ向ツテモ課稅範圍ヲ擴ゲルカ否カト云フコトノ問題ト同時ニ、小角材及板材ニ向ツテモ只今六分

ハカリニ相當ツテ居ル稅率ヲ、モウ幾分高メテ内地材ヲ保護スル必要アリヤ否ヤ、或ハ之ヲ左様ニ致シマシタ爲ニ内

第五類第二號 登錄稅法中改正法律案(政府提出)外三件委員會會議錄 第十三回

昭和二年二月二十五日

三

地ノ林業ヲ大ニ獎勵スル效果アリヤ否
 ヤモ、慎重ニ今審議中デアリマス、申ス
 マデモナク今後民有林ニ對シテ相當新
 タナル獎勵ヲシテ、植林ヲ促進シ、竝其
 用材ノ價格ヲ相當ナ所ニ維持シテ、日
 本ノ林業ノ發達ヲ圖リ、水源涵養ヲ致
 シ、灌溉其他食糧問題ヲ解決スル、殊ニ
 燃料ノ乏シイ我國ニ於キマシテ、工業
 ヲ促進スル上カラ水力電氣ヲ益盛ニス
 ルヤウナ意味ニ於キマシテモ、國土保
 安ノ爲ニ必要ナルト同様、此方ノ意味
 カラモ森林ノ行政ニ對シテハ、解決シナ
 ケレバナラヌ重大ナル問題ガマダ殘
 テ居ルノデアリマス、此問題ニ對シテ
 努力ヲ致スコトハ言フマデモアリマセ
 ヌガ、何分ニモ私ノ今日マデ承ッテ居ル
 農林當局ノ取調ニ依リマスルト、今後
 數十年間ハ日本内地ノ需要スル用材ハ
 内地デ供給スル譯ニ參ラヌ、隨テ關稅
 ヲ大ニ高メテ、内地材ノ價格ヲ騰貴ト
 申シテ宜シイカ、相當ノ所マデ引上ゲ
 テ、外材ノ輸入ヲ防遏シテ其需要ノ全
 部ヲ内地デ供給致シマスルト、日
 本ノ今日ノ狀態デハ森林ノ成長量ト私
 共ノ方デハ申シテ居ルガ、年々成長シ
 テ殖エテ行ク分量ト、需要スル分量ノ
 間ニ非常ナ相違ヲ來シテ茲ニ濫伐ノ弊
 モ生ジ、從テ國土保安ナリ水源涵養
 ニ大ナル妨害ヲ來シテ、其結果國家
 全體ノ上ニ恐ルベキ惡影響ヲ來スコト
 ハ申スマデモアリマセヌ、故ニ或ハ從
 來農林當局ガ重キヲ國有林ノ施業其他

ニ置イテ、公有林竝ニ民有林ニ對シテ
 ハ之ガ獎勵ノ方法ガ十分出來テ居ラヌ
 コトハ、御同様ニ遺憾デアリマス、先年
 政友會内閣時代デアリマシタカ、公有
 林ノ官行造林ヲ促進スル大體ノ計畫ヲ
 立テ、今日ノ當局モ極力此促進ヲ圖
 テ居リマスルガ、遺憾ナガラ二回ノ行
 政整理ニ依テ、年限ガ先ニ延サレテ居
 リ、其進行ガ遅々トシテ居ルト云フコ
 トハ遺憾デアリマシテ、此方面ニ對シ
 テ公有林ノ官行造林ニ對シテ相當ノ力
 ヲ盡スト同時ニ、民有林八百萬町歩ノ
 中凡ソ半ハ無立木地若クハ林相ノ粗惡
 ナモノデアアルサウデアリマスガ、從來
 當局者モ此民有林ノ植林ヲ獎勵スルニ
 ハ苦心セラレタ跡ハ農林省ノ中ニ殘
 テ居リマスルガ、具體案トシテ實現サ
 レタモノハ多クナイ、長田君アタリモ
 從來主張セラレテ居ラタト私ハ記憶シ
 テ居リマスガ、甚ダ金額ハ少クアリマ
 スルガ、此度初メテ水源涵養ノ項目ニ
 依テ、民有林ノ一部ニ向ッテ植林ヲ獎勵
 スルコトガ先ヅ現レタノデアリマスカ
 ラ、此先般御協贊ヲ得マシタ水源涵養
 方面ニ向ッテハ、更ニ機會ヲ得テ其金額
 ヲ增加シテ、二十萬町歩十箇年バカリ
 ニ分ッテ居ル此計畫ヲモット促進シテ、
 更ニ此方針ヲ進メテ行キタイト思ッテ
 居ルノデアリマス、一面木材ノ關稅ノ
 問題ニ對シテハ、如何ニシテモ内地材
 ダケデハ一般多數國民ノ生活ノ安定ヲ
 圖ル上カラ、必要ナル用材ガ足りヌノ

デアリマス、若シ之ニ重稅ヲ課シテ外
 材ヲ防遏スルト云フコトガ假ニ出來マ
 シテモ、一面ニハ多數國民ノ生活ヲ脅
 スト云フ言葉ハ如何カ知ラヌガ、生活
 ノ上ニ餘程不利益ヲ來スト同時ニ、内
 地材ノ濫伐ト申シテハ是モ語弊ガアル
 カ知レマセヌガ、外材ニ依ラズ内地ノ
 山林ニ依テ用材ノ總テヲ得ルト云フコ
 トハ、將來國土保安、水源涵養ノ上ニ非
 常ナル惡影響ヲ來スノデアリマスルガ
 故ニ、只今御尋ノ關稅ニ對シテハ目下
 審議中デアリマスルガ故ニ、遠カラズ
 相當ナ解決ガ出來ルト考ヘマシタト同
 時ニ、内地ノ民有林ヲ獎勵スル方法ニ付
 キマシテハ、關稅ト竝ビ立ッテ刻下之ヲ
 獎勵スル外ノ施設ヲ考ヘナケレバナラ
 ス、單ニ關稅ノミニ依テ此問題ヲ解決
 スルコトハ頗ル困難デアルト考ヘテ居
 リマス、或ハ森林保險ノ問題モ目下考
 究シテ居リマスルシ、其他民有林ノ植林
 ヲ獎勵スル事ニ付キマシテモ、過日御
 協贊ヲ得マシタ水源涵養、アノ一項目
 ニ依テ解決スル譯ニ行カヌカラシテ、
 長ク懸案トナッテ居ル森林政策ノ根本
 ガマダ定マラズニ居リマスル故ニ、長
 田君初メ斯道ニ精通セラレテ居ル方ニ
 ノ御意見ヲモ承ッテ、何トカ森林行政ノ
 根本策ヲ樹ツルコトニ努力スルト、斯様
 ニ申スヨリ外ニ途ガナイノデス、或ハ
 御尋ニ對シテ御満足ヲ得ル答辯デナイ
 カ知リマセヌガ、大體私ノ申上ゲルコ
 トハ御了解下サツタ事ト思ヒマス

○長田委員 大臣ヨリ森林政策ニ對シ
 テ御心配下サツテ居ル點ヲ伺ヒマシテ、
 深ク感謝ヲ致シマス、殊ニ關稅委員會
 ニ於テ此稅率ノ問題ハ審議中デアルト
 云フ事デゴザイマスガ、尠カラヌ喜ヲ
 以テ迎ヘル次第デアリマス、大臣ノ御
 說ノ如クニ、又昨年山林局長ガ說明致
 シマシタ通りニ、一箇年ノ成長量ガ一
 億三千萬石トシテ、ソレカラ更ニ一箇
 年ノ需要量ガ一億九千萬石ト云フコト
 デアリマスカラ、其差ガ六千萬石デア
 ル、其六千萬石ノ中カラシテ、詰リ移入
 シテ來ル——植民地ト云フベキ所カ
 ラ移入シテ來ルモノガ二千萬石トシテ、
 外材ガ約一千萬石、サウスルト差引三
 千萬石ノモノヲ所謂元喰ヒラシテ居ル
 ノデアル、元本ヲ伐採シテ居ルノデア
 ル、故ニ此儘ニシテ置イタナラバ治水ノ
 根本ガ破壞サレ、又日本ノ木材ノ自給
 自足ト云フコトハ到底得ラレナイ事ニ
 ナルト云フ說明デアリマシタガ、此數
 字ハ大體ニ於テ間違ナイト承ッテ居リ
 マスカラ、私ハ此點ヲ此儘ニ放任スル
 コトノ非常ニ恐ルベキ結果ヲ生ズルト
 云フコトハ同感ナノデアリマス、唯之
 ヲ保護シテ參ルノニ、矢張造林ノ欲望
 ヲ其山林業者ニ與ヘナケレバナラヌト
 云フコトガ、必要ナ第一點デアアルヤウ
 ニ思ヒマス、ソレニハ矢張關稅ノミデ
 ハアリマセヌガ、有ユル方面ノ木材ノ
 價格ヲ相當ニ維持シテヤルト云フコト
 ガ必要デアル、私敢テ相當ト申スノデ

アリマス、ソレカラ元本ヲ伐採シテ參ル所ノ三千萬石ノ數量ニ對シテハ、單ニ伐採シタ跡ニ植林スルノミデナクシテ、我國ニ存在スル——ドレ位アリマスカ只今大臣ノ御説明ニ依ルト八百萬町歩ノ中デドノ位アルカト云フコトハマダ存ジマセヌガ、所謂粗惡林ト申ス、其粗惡林ノ地質ノ御検査デモ願フテ、ソレニ優良材ヲ増植シテ參ルト云フコトデ初メテ目的ヲ達セラレルヤウニ思フノデアリマス、隨テ一番大切ナノハ昨年モマダ出來テ居ラヌト云フ御話デアリマシタガ、ドウシテモ民有林ノ基本調査ガ矢張出來ナケレバナラヌト思フノデス、其民有林ノ基本調査ハ大體出來タノデゴザイマセウカ、同時ニ此粗惡林相ノ改良ト云フコトニ對シマシテモ、大體ノ御調査ガ出來タノデゴザイマセウカ、御分リデアレバ御答ヲ願ヒマス

○町田國務大臣 詳細ノ事ノ御答ガ必要デアリマス、此方ノ専門ノ局員モ此處ニ居リマスルカラ、御希望ニ依テハ其方カラ詳シク申上ゲマスガ、基本調査ノコトハ貴衆兩院デ數年前カラノ問題デアッタサウデアリマス、今年ノ議會ニ相成ベクハ御協賛ヲ得タイト農林省側トシテハ希望致シマシタガ、當年ノ豫算ニ御協賛ヲ得ルマデニ參ラナカッタノハ甚ダ遺憾デアリマス、一昨日貴族院ニ於キマシテモ、只今長田君ノ御尋ノ如ク、日本ノ森林政策ノ根本ヲ定

メルニハ、ドウシテモ百二十萬町歩ニ達スル公私有林ノ本當ノ基本調査ガ出來、木ノ種類、年齡等詳シク見タ上デナケレバ定メル譯ニ行カヌカラ、之ヲ早クシタイト云フ切ナル希望モ一昨日ト思ヒマシタガ、貴族院ニ於テモ長田君同様ノ御尋ガアリマシタ、是ハ至極御尤ナコトデ、農林當局ノ方デモ遅クモ來年ノ議會ニハ御協賛ヲ得ル迄ノ準備調査ハ致ス積リデアリマス、併シ過日御協賛ヲ得マシタ時ニ多分御一讀下スッタコト、思ヒマスガ、此度民有林八百萬町歩ノ内ニ對シテ水源涵養ニ最モ必要ナリト致シ、二十萬町歩ニ向ッテ政府ガ相當補助成金ヲ出シテ此植林ヲ致スト云フコトヲ定メマス迄ニ長イ取調ノ上カラ達觀的ニ見マシタ、相當ノ調査ハ出來テ居リマス、或ハ無立木地ノ水源涵養ニ必要ナル部分、林相粗惡ノ部分ニシテ是非此林相ヲ改良シナケレバナラヌト云フヤウナ部分モ、從來ノ長イ間ノ一通リノ調査ニ依テ達觀的ニ出來テ居ル、確カ此度ノ御協賛ヲ得マシタ二十萬町歩ノ中ニハ無立木地ノ水源涵養ニ屬スルモノハ十二萬町歩、林相粗惡ノ方ニ必要ダトシテアリマスルノガ八萬町歩、都合二十萬町歩アリマシテ、凡ソ八百萬町歩ノ中ニ既ニ植林ヲ致シテ居ル部分、無立木ノ部分及林相粗惡ノ部分ハ斯様デアッテ、其内譯ハ斯様ナモノデアルト云フ、一通リノ取調ハ出來テ居リマス、基本調査トシテ精細ニ

互タノデハアリマセヌガ、御承知ノ通り大抵専門家ガ一通リ一目シマス、凡ソ此樹齡及成長量ノコトナドハ概算デ分ルヤウナコトデアリマスガ、ソレダケノ取調ハ出來テ居リマスガ、其内譯ガ御必要デアリマスレバ、只今此處デ説明サシテ宜シウゴザイマス

○長田委員 後デ拜見致シマス

○武藤委員長 此際一寸申上ゲテ置キマスガ、成ベク御質疑ハ重ツタ質疑ヲ避ケタイト思ヒマス、若シ御缺席ニナッテ居ッテ重ツタ點ガアリマスレバ、委員長カラ御注意ヲ申上ゲマスカラ、惡シカラズ……

○村山委員 只今ノ木材關稅ニ關聯シタ質問デアリマスカラ、ドウカ……

○武藤委員長 村山君

○村山委員 私請暇ヲ得マシテ歸省シテ居リマシテ今朝歸ッテ參リマシタ、先程ノ長田君ノ御質問モ中途カラ承ッテ爲ニ或ハ多少全體ニ關スル意味ヲ受ケ兼テ居ルカモ知レマセヌカラ、左様ナ場合ニハドウゾ御注意アラムコトヲ希望致シマス、木材關稅ノ問題ハ造林ノ獎勵、或ハ木材需給ノ調節ト云フコトニ非常ナ深い關係ヲ持ッテ居ルノデアリマシテ、目下民間側デモ引上ノ陳情ガアリ、又反對ノ意見ノ發表モアルヤウデアリマス、當業者ハ深ク注意ヲ致シテ居ルノデアリマス、先程大臣ノ御答ノ中ニ木材關稅ハ昨年一部改正ヲシタ、其後未ダ一年ヲ經過シテ居ルニ過ギナイノダカラ、格別其間ノ情勢モ著シ

キ變化ナイ以上ハ、餘リ其必要ガナイデナイカト云フヤウナ意味ノ御答モアッタヤウデアリマス、又木材關稅ヲ以テノミ造林ノ保護獎勵ハ出來ナイカラ、此造林ノ保護獎勵ハ別段ノ方法ヲ以テ考ヘナケレバナラヌ、斯ウ云フ意味ノ御答モアッタ、或ハ又遺憾ナガラ今後數十年ノ間ハ我國ノ森林ノ狀態ト云フモノハ外材ノ輸入ニ俟タナケレバ供給ガ圓滿ニ行カヌノデアルカラ、保護關稅ヲ課スルト云フコトモ如何カト云フヤウナ御説モアリ、又是ハ單ニ造林勵以外ニ需要方面若クハ社會的政策ノ見地カラ、生活必需品トシテ或考慮ヲ要スルモノデナカラウカト云フヤウナ意味ノ御答モアッタヤウニ私ハ思ヒマス、是ハ何レモ大臣ノ仰セノ通りデアリマス、併ナガラ先ヅ生活必需品デアルガ故ニ木材關稅ヲ重クスルト云フコトハ私共ハ避ケナケレバナラヌト思ッテ居リマス、大臣ハ先程昨年六十五ミリ、即チ二寸幅ノ板カラ五寸角迄擴張シタト云フ事實ヲ御承知ノコトハ言フマデモナイコトデアリマス、併ナガラ板子モ、小角モ、大角モ、丸太モ總テヲ通ジテ無稅品デアッタモノヲ、二寸カラ五寸迄ニ有稅品ヲ擴張シタト云フニ過ギナイノデアリマシタ、其ノ大角、丸太其他割材、總テは無稅品トシテ入ッテ來テ居ルノデアリマス、一部ニハ木材關稅引上ト云フ言葉ヲ用キテ居リマスガ、從來ノ關稅ガ

安イカラ引上ゲルト云フコトハ是ハ有
稅品ニ對シテ言フコトデアラフテ、無稅品
ニナラテ入ラテ來テ居ルモノニ引上ト云
フ言葉ハ少シ嵌ラヌノデアリマス、詰
リ無稅ナモノニ稅ヲ課スト云フノデ
アル、所ガ昨年少シバカリ、從來ノ二寸
ノモノヲ五寸迄ニ擴張シタカラ、ソレ
デ其後ノ變化ガ別段ナイ以上ハ餘リ必
要ガナイデナイカト云フヤウナコトデ
アリマスケレドモ、統計ノ上カラモ明
カデアリマス如ク、兎モ角金額ニ致シ
マシテ木材ノ輸入ト云フモノハ一億
圓、數量ニ致シマシテ一千一百萬石、此
內有稅品、即チ五寸角迄ノモノ、金額ハ
私今此處ニ詳細ナ數字ヲ持ッテ居リマ
セヌケレドモ、恐ラク一千五七百萬圓
デアラウト思フ、殘ル八千五六百萬圓
ノモノハ關稅ノ課カラナイ無稅ノ物ガ
入ラテ來テ居ルノデアリマス、是ハ御承
知カドウカ、私共ハ從來ノ有稅品ニ對
スル考ハ、無稅品ニ對シテ或ル稅ヲ課
スルナラバ、ソレト均衡ヲ得セシムル
爲ニ餘儀ナク有稅品デアルモノ、課稅
モ亦高メテ行カナケレバナラヌ、斯ウ
云フ關係ヲ持ッテ居ルト思フ、兎モ角八
千萬圓內外ノ木材ハ無稅品デアルト考
ヘテ居ルノデアリマスガ、之ニ對シテ
ハ此儘デ宜イト云フコトハドウシテモ
私ハ合點ガ參ラヌノデアリマス、更ニ
生活必需品ナルガ故ニト云フ意味モ加
ヘラレラ居ル、併ナガラ先程私ガ小山
政務次官ニ御尋シタ如ク、今日吾々國

民ノ生活必需品デアル所ノ米、粃、小
麥、小麥粉、大豆、小豆、牛肉、鳥卵、斯ノ
如キ日常缺クルベカラザル食料品ニ對
シテ、內國ノ農產物保護ノ見地カラ二割
乃至三割ノ課稅ガアルノデアリマス、木
材亦モ內地ニ於テ矢張土地ヲ基本トシ
テ立ッテ居ル所ノ原始產業デアリマシ
テ、農業モ林業モ原始產業デアルト云
フ意味ニ於テハ何等異ル所ハアリマセ
ヌ、然ルニ私共林業家ガ日常生産スル
爲ニ消費スル食糧品ニハ悉ク關稅ノ保
護——或ル意味ニ於テ消費稅ガ加ハ
テ居ルツデアアル、稅ノ課カッタモノヲ吾
吾ガ消費シテ、生産スル物ダケハ海外
カラ入ラテ來ル無稅品ト競争セヨト云
フコトハ、ドウシテモ成立タナイ理窟デ
アラウト思ヒマス、吾々消費スルモノ
ガ有稅品デアルナラバ、生産品モ亦此
意味ニ於テ保護ヲ受ケナケレバナラマ
イト思フ、之ニ對シテハ保護關稅ト內
地農業及林業保護ノ關係ハ、農產物モ
木材モ違ハナイ筈デアルト思フノデア
リマスガ、若シ木材ダケハ特別ナ理由
ガアルカラ、ソレハ保護ノ必要ガ無イ
ト云フナラバ、其特別ノ理由ヲ承リタ
イ、又農產物ニ對スル現在ノ保護關稅
ガ適當デアアル、ソレガ合理的デアルト
云フナラバ、木材ハ何故ニ課稅シナイ
カト云フ玆ニ矛盾ガ起ッテ來ルノデア
リマス、此點ニ對スル一應ノ御説明ヲ
承リタイノデアリマス、尙ホ私ハ更ニ
御尋致シテ見タイ事ガアル、今後三四

十年ノ間遺憾ナガラ國內ニ於テ木材ノ
自給自足ハ出來ナイト云フコトヲ仰セ
ニナリマス、勿論私モ或ル程度マデハ
左様デアラウト思フ、ケレドモ今日外
材ガ約一千二百萬圓ノ輸入ガアリマス
ガ現在ノ情勢ヲ見テモ、内地ノ木材ノ市
價ヲ高メテ、多少此關稅ヲ以テ防遏ス
ルナラバ、此三分ノ一若クハ四分ノ一
位デ需給ノ調節ガ出來ルモノト思フノ
デアリマス、斯ノ如ク多量ナ輸入ハ現
在ニ於テ私ハ要シナイト思フノデアリ
マスガ、之ニ對シテモ一應農林省ノ御
意見ヲ承リタイト思フノデアリマス
○町田國務大臣 只今ノ關稅ノ御尋ニ
付キマシテハ政務次官カラ御答ヲシテ
居ルサウデアリマス、其御答ハ私モ無
論責任ヲ取リマス、變ッタ事ハアリマセ
ヌガ、私ガ關稅ヲ引上ゲル問題ニ付テ
今考慮シテ居ルト申シマシタ點ニ對シ
テ、只今御注意ダト思ヒマスガ、丸太ニ
對シテハ成程無稅デアリマスカラ、之
ニ關稅ヲ課スルカ否ヤト考慮ヲ致シテ
居ル點ハ、成程引上ト云フ言葉デハ惡
カッタデセウ、併シ同時ニ板材竝ニ小角
材ノ今日ノ率ガ果シテ適當デアルカ否
ヤト云フ事ニ對シテモ考慮致シテ居リ
マスカラ、左様御承知ヲ願ヒタイ、ソレ
カラ如何ニモムツカシイ問題デアリマ
ス、内地ノ植林ヲ促進スルト云フ事ト
内地ダケデハ足ラヌカラ、而シテ多數
國民ノ生活ニ關係スル問題デアルガ故
ニ、利害錯綜シタ問題デアリマスガ故

ニ此需要者ト供給者ノ利害ヲ調和スル
コトモ考ヘナケレバナラヌ、國家百年
ノ長計モ考ヘネバナラヌ、高ケレバ濫
伐シテ水源涵養、國土保安ニ惡影響ガ
來ヤセヌカト云フ考慮モシナケレバナ
ラヌ、此儘ニシテ置ケバ造林ヲ促進ス
ル譯ニ行カヌカラ、將來需給關係ヲ調
節スル譯ニモ行カヌト云フ點カラモ考
ヘネバナラヌ、併シ他ノ食糧問題ニ對シ
テハ關稅ヲ課ケテ居リナガラ、木材ニ
對シテハソレト同様ノ政策ヲ執ッテ居
ナイデヤナイカト云フヤウナ御尋デア
リマシタ、大體ニ於キマシテハ政府モ
貴衆兩院モ相當ナ關稅ヲ課スルコトガ
内地ノ森林業ノ獎勵ノ爲ニハ必要ナ手
段デアアル、併シ之ノミニ依テハ參ラヌ
ト云フ考ヲ持ッテ居リマス同時ニ、相
當ナ關稅ヲ課ケナケレバ將來ノ需給關
係ヲ調和スル譯ニモ參ラズ、水源涵養
ニモ相成ラヌト云フ根本ノ大體ハキマッ
テ居ル、今ノ殘ッテ居ル問題ハ程度ノ問
題デアリマス、ソレカラ昨年ハ大變木
材ガ澤山輸入シマシテ内地ノ木材ノ價
格ヲ暴落セシメテ、當業者ノミナラズ
林業家、延イテハ農村ニマデモ非常ナ
影響ヲ來シテ居ルト云フコトニ付キマ
シテハ、私共モ十分考慮致シテ居リマ
ス、併シ十二、三年——震災後ニ澤山輸
入シタ木材ガ十三、四年ノ供給過多ノ
爲ニ内地ノ木材ノ價格ヲ支配シタト云
フ事ノ一ツノ事實ハアリマスルト同
時ニ、昨年ハ一昨年ニ比ベレバ倍以上

ノ數量が入ッタト思ヒマス、其原因ハ前年ニ入ラヌ爲ノ不足ヲ補フト云フ一ツノ思惑ノ考モアツタト云フ説モ聞イテ居リマス、同時ニ爲替ガ恢復シタ爲ニ外材ノ輸入ヲ促進シタト云フ昨年ノ事實ハアリマスガ、今日カラ今後ヲ見マスト少クトモ爲替關係ニ依テ外材ノ輸入ヲ促進シタト云フコトハ、今年ニ於テハ現ハレル筈ハナイト斯様ニ大體ニ於テ考ヘテ居リマスカラ、此議會ニ御協賛ヲ得ル迄ニ參ルカ、或ハ左様ナ事情ヲ取調ベタ後ニ來年ノ議會ニ御協賛ヲ得ルコトニナリマスカ知リマセヌガ、何レニシテモ此關稅ニモソツト相當ナ程度ニ於テ内地ノ林業者ヲ保護スル爲ニ、現行ノ關稅法ニ多少ノ改正ヲ加ヘナケレバナラヌト云フ趣意ノ下ニ今調査致シテ居リマス

○武藤委員長 商工大臣モ待ッテ居リマスガ、昨日綿絲關稅ニ付テ、商工大臣ノ撤廢セザル理由ヲ聞クト云フコトガ委員會ノ希望ニナッテ居リマシタガ……長田君

○長田委員 アレハ政府ノ撤廢不可能ナリト云フ論旨ノ根柢ヲ、一條書キニシテ戴クコトニナッテ居リマスガ、今戴ケマセヌカ

○武藤委員長 一條書キニシテモ宜シウゴザイマスガ、商工大臣ガ出テ居リマスカラ、商工大臣ノ方……

○長田委員 ソレデハ一ツ商工大臣ニ御願致シマス、一箇條ヅ、デ宜シウゴ

ザイマスカラ、箇條ニ付テ……

○藤澤國務大臣 御答致シマスガ、書面ハ差上ゲル積リデ、書クコトニナッテ居リマス、私ハ差上ゲタカト思ウテ居タ位デアリマス、昨日此會ガ終リマシタ後ニ、其話ヲ聞キマシテ差上ゲルコトニ致シテ居ッタ筈デアリマス、後刻差上ゲルコトニナリマセウ

○長田委員 左様デゴザイマスカ

○武藤委員長 商工大臣ニ御質疑ハゴザイマセヌカ

○永田委員 此委員會モ段々終リニ近付イタヤウニ思ウテ居リマスガ、委員長ノ御話ニモ今日位デ質問ヲ終ラウデヤナイカト云フ御意見モ非公式ニゴザイマシタカラ、此際一寸伺ッテ置キマス、先般來關稅ノ方ノ委員會デ最モ問題トナッテ居リマスル木材ノ關稅デアリマス、昨日又一日爭ヒマシタ綿絲ノ關稅撤廢、又最モヤカマシイ金液關稅ノ撤廢、又軍事工業上カラ見テ、昨年モ大分ヤカマシク論ゼラレマシテ、今年ノ希望條件ノ一ツニモナッテ居リマス、オレイン、是等ニ付キマシテ政府ノ御意見ヲ一應承ッテ置キマシテ、吾モ黨議ニ臨ミタイト思フノデアリマス、大臣ヨリ大體ノ御意嚮ヲ承リマスレバ、仕合ト思ヒマス

○藤澤國務大臣 只今永田君カラ御尋ニナリマシタ、金液ノコトニ付テ、先ヅ以テ御答ヲ致シタイト考ヘテ居リマス、金液ニ對スル政府ノ所見ハ是マデ度

申上ゲタノデアリマス、併ナガラ内地製品タル金液ニ付テ大分御意見ガアッタデアリマス、然ルニ本邦製品中ノ最モ多ク販賣セラレテ居リマス、「センクパイル」商會ノ製品、是ハ如何ニモ仰セノ如ク「ハノーピア」商會ノ製品ニ比較致シマシテ、稍粘性ガ強イ爲メ、塗布ノ際ニ幾分餘分ノ勞力ヲ要スル弱點ガアルト云フコトニ付キマシテハ、政府ニ於キマシテ其反對ノ意見ヲ申上グル積リハナイノデアリマス、唯併ナガラ新ニ造リマシタ所ノ製品、即チ矢張「センクパイル」商會ニ於テ、新ニ造リマシタ最近ノ新製品、是ハ商工省ニ於テ、陶磁器試驗ヲ致シマシテ、最モ嚴密ナル比較試驗ヲ行ハシメタノデアリマスガ、ソレハ確ニ「ハノーピア」商會ノ製品ニ比較致シマシテ遜色ノナイト云フコトノ結果ヲ得マシタノデアリマス

サウシテ此新ナル製品ハ既ニ市中ニ販賣セラレタノデアリマス、金液ノコトハ單ニ金液ト云フノミニ止リマセズ工業ニ至大ノ關係ヲ持ッテ居ルノデアリマスカラ、政府ニ於キマシテモ十分ニ調査ヲ致シタノデアリマスガ、然ルニ今日マデ發達致シマシタ此金液ニ對シマシテ關稅ヲ撤廢致シマシテ、打撃ヲ與ヘルヤウナコトニナリマシテハ、工業政策ノ根本方針ノ上カラ洵ニ遺憾ニ存ジマスノデアリマスカラ、政府ニ於キマシテハドウカ此新ナル製品ヲ汎ク使用致サセマシテ、サウシテ尙ホ彼

ニ及ナイ所ノモノガアリ、需用者ノ爲ニ不利益デアルト云フヤウナコトニナリマシタナラバ、ソレハ又容易ナラヌコトデアリマスカラ、一箇年間之ヲ試シテ見マシテ、若シサウ云フ結果ガ現レマシタナラバ、次ノ議會ニ於キマシテハ此金液ノ關稅ノ撤廢ニ對スル要求ニ付テハ、決シテ躊躇スル者デハナイト云フコトヲ申上ゲマスカラ、ドウゾ御据置ヲ戴キタイト考ヘルノデアリマス、次ニ「オレイン」ノ關稅ノ稅率ノ點デアリマスガ、是ハ御說御尤ノナウニ存ジマス、政府モ亦其如ク考ヘマスノデ、成ルベク取急ギマシテ是ハ關稅委員會ノ幹事會ニ提出スル準備ヲ致シテ、只今急イデ居リマス、是モ近日時日ニ於キマシテ之ヲ提出致ス積リデアリマス、是ダケノ事ヲ申上ゲマス

○永田委員 綿絲並ニ木材ニ關シテモ御意見ヲ承リタイ

○藤澤國務大臣 御答ヲ取殘シマシタガ、木材ノ方ハ是ハ農林省ノ所管デアリマスカラ、私カラハ綿絲ニ付テダケ申上ゲマス、綿絲ニ付キマシテハ先日来御答致シテ置キマシタ通り、政府ハドウシテモ是ハ撤廢致シマスコトニ御同意ヲ致シ兼マス

○西脇委員 金液ニ關シマス問題ニ付キマシテ簡單ニ商工大臣ニ伺ヒタイ、今ノ御説明ニ依リマスト大體御主張ノ點ハ分リマシタガ、一年試驗ヲシテ見ルト云フ御意思デアリマスカ、其點ヲ

モウ一遍承リタイ

○藤澤國務大臣 試驗ヲ致スノデハアリマセヌ、モウ試驗ハ濟ミマシテ、サウシテ彼ニ比較致シテ遜色無キコトヲ認メテ居ルノデアリマス、併ナガラ尙ホ之ヲ用キマスル人ノ間ニ彼ニ及バナイモノガアルカラ、ドウシテモ關稅ヲ撤廢シテ貫ハナケレバナラナイト云フヤウナ意見ガアリ、事實ガ其如クニ現ハレマシタナラバ、其時ニ於テ考慮致シマス、サウシテ其御趣旨ニ相反スルヤウナ事ノナイコトヲ今日申上ゲテ置ク、斯ウ云ウ意味ニナルノデアリマス

○長田委員 只今此金液ノ問題ニ付テ一寸伺ッテ居リマシタガ、是ハ政府ノ方デ試驗ノ結果ガ好イト御認メニナッタト云フコトダケデ、之ヲ使用シテ營業者ガ其試驗ノ成績ニ信賴シテ、是ハ宜シイト云フコトヲ言ッテ居リマスカ、ソレヲ承ッテ置キタイ

○藤澤國務大臣 ソレハ最近賣出シマシテ、營業者モ是ナラ好イト云フヤウナコトヲ皆申シテ居ルト云フコトデアリマス、併ナガラ其數ハトノ位ニ行渡ッテ居リマスカ、マダ時ノ無イコトデアリマスカラ、是ヨリ以上申上ゲルコトハ出來ナイト思ヒマス

○高橋委員 金液ノ問題ニ付テ今ノ御答辯デアリマスカ、最近賣出シタト云フコトデアルガ、奥村君ノ御話デハマダ營業者ハ少シモ賣出シテ居ナイト云フコトヲ此間陳述サレテ、當局ノ方デ

モソレヲ御認メニナッタヤウデアリマスカ、ソレハ最近ト云フコトニナッタ居ルガ、過去一週間ノコト位ノ時日デアリマスカ、ソレカラモウ一ツ伺ヒタイノハ、吾々ハ其試驗所デ御認メナリ、當局ニ於テ推獎セラレテ居ル此金液ト云フ物ト、外國カラノ輸入品トノ成績ノ比較サレタ實物ヲ吾々ニ御提示ニナッタデアリマス、其實物ヲ見マシテ吾々ハ専門家デナイカラシテ、正確ナル事ハ分ラヌノデアリマスケレドモ、吾々ノ目ノ届ク範圍ニ於テハ、明ニ當局ノ御認メナル優良ダト云フ物ハ不良ニ見エルノデアリマス、サウ云フ物ヲ吾々ハ此所ニ突付ケラレテ、何方ヲ購買スルカト云ヘバ、政府ノ優良ナリト御認メニナッタ金液ノ付イテ居ナイ方ヲ撰ブコトニ相成ルダラウト思フノデアリマスカ、先日吾々ニ御示ニナッタ標本ト云フ物ハ出來損ヒデアッテ、ソレ以上ノ物ガ出來タト云フコトデアリマスカ、ソレトモ先日吾々ニ御示ニナッタ標本ト云フ物が最上ノ物デアルト云フコトニナッテ居リマスカ、其邊ノ事ヲ承リタイ

○藤澤國務大臣 賣出シタ時機ニ付テノ御意見ガアリマシタガ、是ハ最近ノ事デアリマス、奥村君ノ仰セニナッタノモ其ノ通りデアリマス、奥村君ノ仰セニナッタノハマダ此新ナル製品ヲ賣出サナイ先ノコトニ付テノ御話デアリマスカラ、衝突致シマセヌデ、矛盾致シマセヌデ、時ノ異ナレルモノデアルト

云フコトニ歸著致スシデアリマス、ソレカラ先日御覽ニナリマシタ標本ニ付テノ御意見ガアリマシタガ、是ハ肉眼デ直ニ其眞價ヲ確的ニ確ムルト云フコトハ如何ナモノデアリマセウカ、水ノ度ヲ加ヘル分量ニ於テ、程度ニ於テ色ナドハ色々違ヒラ現ハスモノダサウデアリマスカ、併シ私ハ全ク分リマセヌ、兎ニ角此度ノ新ナル製品ニ付キマシテハ、雷ニ商工省陶磁器試驗所ガ嚴密ニ検査ヲ行ッタバカリデナイ、ソレニ對シマシテハ大阪ノ工業試驗所カラモ立會ヒマシテ、サウシテ検査ヲ致シタノデアリマスカラ、私共ハ是等ノ機關ノ検査ニ依リマシテ其確實ヲ信ズルモノデアリマス

○高橋委員 サウスルト私共ハ最近ニ賣出シタト云フバカリデ、奥村君ノ調査サレタ事實モ其通りデアル、其後ニ賣出シタト云フヤウナコトダケデハ吾信ヲ置クコトハ出來ナイ、何時何日カラ賣出シテ、凡ソ何瓦位賣出シタノデアルカト云フコトヲ正確ニシテ戴キ、奥村委員カラシテ現在我國ニ殘ッテ居ル所ノ金液ト云フモノ、分量ト云フヤウナモノヲ、此間御示ニナッノデアリマス、ソレデアリマスカラ御當局ニ於テハ、又奥村委員ヨリハ尙ホ以上ノ御調査ノアルベキコトデアリマシテ、金液ノ我國ニ於テノ在荷ノ分量等ハ餘程正確ニ御分リニナッテ居ル筈ダト思フ、此金液ノコトハ事小ニ屬スルヤウ

デアリマスケレドモ、之ニ付テハ委員會ハ非常ニ重要視シテ居ルノデアリマス、而シテサウ云フ薄弱ナル御説明ヲ以テ吾々ハ此問題ニ付テ満足ヲ表スル譯ニ行カヌノデアリマス、殊ニ工業試驗所デモ立會ッテ検査ラシタ、或ハ試驗ラシタト云フヤウナ御話ガアリマスケレドモ、其製品ト云フモノガ竈ノ燒付ケノ度合デ變化スル位ノコトハ分ッテ居ル、併シ試驗ラスルト云フヤウナコトデアアルナレバ、其度合ナドハ正確ニ行ッタト云フコトデナケレバ試驗ノ成績ナドハ分ラヌノデアアル、ソレデアリマスカラ此間試驗ラシタ成績ト見本ヲ吾々ニ提示セラレタノガ完全ナル竈ノ度合デアッテ、完全ナル製品ヲ得ラレタト云フコトデ御示ニナッタト思フ、其金液々々ニ付テ竈ノ度合ガ違フ、ソレヲ一時ニヤッタラ違フダラウト云フヤウナコトニハ、吾々ハ認メ得ナイノデアリマス、左様デアリマスカラ吾々ハ肉眼デアッテモ左程大臣ガ考ヘラレタヤウナ不正確ナモノトモ吾々ハ考ヘラレヌノデアアル、一般需要家ガ其商品ヲ見テ善シ惡シヲ判斷スル位ノモノハ、吾々ニモ十分アルダラウト思フ、左様デアリマスカラ吾々ハ肉眼御定ニ依テ決シテ優良ナルモノデナイト云フコトハ、皆異口同音ニ委員ガ認メテ居ルノデアアル、然ルニ政府ハ下級官吏ノ證明シタ證言ヲシタモノデアルカラ、大臣ニ於テハ之ヲ認メルノデアアル、此委

員ノ眼ト云フモノヲ何等眼中ニ置カレ
ナイト云フヤウナ御聲明ヲ承テ、私ハ
驚イテ居ルノデアリマス、左様デアリ
マスルカラ是ハ私ノ御問ヲ申シテ居
ル事實ハ、大臣ニ於テ能ク御認ニナッテ
居ルカ、又金液ト云フモノハ何時販賣
シ出シタ、發賣ヲ致シテ凡ソドノ位ノ
分量ヲ發賣ヲシテ居ルノデアルカト云
フコトヲ正確ニ承リタイト思ヒマス

ノコトニ付テ政府ノ御意見ヲ伺ヒマシ
タガ、木材關稅ニ關スル分ダケテ度農
林大臣ガ御留守デ伺フコトガ出來ナカッ
タノデアリマスガ、吾々ハ木材ノ關稅
ヲモウ少シ適當ニ引上ゲテ、日本ノ林
業ノ隆盛ヲ圖リタイ、ソレ等ノ質問應
答ハ十分致サレテ居ルノデアリマスガ、
此際之ニ對スル政府ノ御意見——吾々
委員ノ意見ヲ御參酌下サルコトガ出來
ルカドウカ、或ハ政府ハ今年ハ考慮セ
ラレヌト仰シタルカ、ソレヲ大體承テ
吾々討議ノ參考ニ資シタイト思ヒマス

數ノ生活問題ト、植林ヲ獎勵シ營業者
ノ多數ノ利益ヲ見ルマデニ、營利事業
トシテ此仕事ヲ成立タセルカト云フコ
トハ、如何ニモ込合タ問題デアリマシ
テ、一ヶ月以上是ガ審議ニ時間ヲ費シテ
居ルノデアリマス、當局者ハ決シテ之
ヲ蔑ロニシテ居ルノデアリマセヌ、
委細ハドウゾ先刻申シマシタ速記録
ニ依テ政府ノ趣意ノ在ル所ヲ御了解ヲ
願ヒタイト思フ

スルニハ、獨リ關稅ノミニ依テハ出來
ナイト云フ確信ヲ持ツテ居リマス、同時
ニ關稅政策ハ日本ノ森林ノ植林其他森
林一般ノ促進ヲ圖ルコトニハ相當效力
アルト考ヘテ居リマス、又人工ヲ加ヘ
タ角材及ビ板材ノミデハイカヌ、丸太
其他多數入ッテ來ル——輸入シタ後ニ
製材所ノ手ニ依テ製材サレル丸太ニ向ッ
テモ、相當考慮シナケレバナラヌト云
フ意味合ヲ以テ、幹事會ニ於テ原案ハ
今出來ツ、アリマス、斯様ナ程度デア
リマス、但シ私ハ之ヲ今年ノ議會ニ提
出シテ皆サンノ御協賛ヲ得ルト云フコ
トヲ、此處デ言明スルマデノ程度ニ達
シテ居ラヌコトハ甚ダ遺憾ト思ヒマス

○藤澤國務大臣 只今御尋ニナリマシ
タ金液ニ付テハ、私ハ標本ニ對シテ竈
ノ度合ガ違ッテ居ルト云フコトヲ申シ
タノデモ何デモナイノデアリマス、ソ
レカラ又委員諸君ノ肉眼デ御覽ニナッ
タ、其事柄ヲ輕視シテ度外ニ置クト云
フヤウナ意思ハ全然私ニハナイ、少シ
モサウ云フヤウナ氣持モ持ツテ居ナイ、
ソレデ何カ左様ナ御言葉ノ出ルヤウナ
私ノ言葉自體ノ行キ違ヒデモアリマシ
テオ感ジニナリマシタナラバ、ソレハ私
ノ言葉ノ足ラナカッタノデアリマセウ
カ、使ヒ方ガ惡カッタコトカラ起ッタコ
トデアリマスカラ、御諒解ヲ戴カネバ
ナラヌ、全然左様ナ考ヲ持ッテ居ラヌノ
デアリマス、ソレカラ只今ノ所ニ於テ
モ、此席ニ於キマシテ此製品ヲドノ位
何時何日賣出シタト云フヤウナコトハ、
一寸申上ゲ兼マス

○町田國務大臣 木材關稅ノコトハ數
日前ヨリ此處デ委員諸君ト政府トノ間
ニ意見ノ交換ガアツタ承リマス、本日
私ガ出マシテ長田君ノ御尋竝ニ村山君
ノ御尋ニ對シテ大體ノ御答ヲ致シタノ
デアリマス、只今御尋ノコトハ先刻長
田君竝ニ村山君ニ相當詳シク御答シタ
ト同ジコトダト思ヒマスカラ、茲ニ餘
リ詳シク繰返シテ申スノモ他ノ進行ニ
モ妨ゲニナルト思ヒマスカラ、詳シイコ
トハ今日ノ速記録デ御覽下サレバ至極
幸デアリマス、大體ニ於テ政府ハ考慮
シテ居リマス、但シ先刻申上ゲマシ
タ通り、利害ガ錯綜シテ居リマシテ、
一方ニハ國民多數ノ生活ノ狀態モ考ヘ
ナケレバナラズ、一方ニハ既ニ課ッテ居
ル木材ノ稅率ガ適當デアルヤ否ヤ、又
村山君ノ御尋ノ如ク現ニ課ケテ居ラヌ
モノデ多ク入ッテ來ル用材ニ對シテ
モ、下ノ邊マデ關稅ヲ課スレバ國民多

○永田委員 先程ノ御說明モ承リ、又
只今ノ御話ヲ承リマシタガ、農林大臣
ハ非常ニ御答辯ガ上手デ結構デアリマ
スガ、率直ニ伺ヒマス、消費者ノ關係ヲ
考慮シテ、今ノ稅率ヲドレ位ニドウス
ル斯ウスルト云フコトモ考ヘテ居ル、
又課稅ノ目的ヲドノ邊マデ進メルカ進
メナイカト云フコトモ考ヘテ居ル、斯
ウ云フコトニ承リマシタガ、要スルニ
後ト僅カ一箇月シカナイ此議會中ニ之
ヲ解決スルト云フ御意思デアリマスカ、
又ソレハ到底ムヅカシイト云フ御意見
デアリマスカ、其時期ノコトダケヲ簡
單ニ承リタイ

○永田委員 只今商工大臣カラ高橋君
或ハ長田君ノ質疑ニ對シマシテ御答ニ
ナリマシタ金液ノ問題デアリマスガ、
最近ニ至リマシテ此金液ヲ使用致シマ
ス所ノ陶磁器業組合ノ上京シテ居ル代
表者ハ、奧村君ニ此以上陳情スルト云
フコトモ奧村君ニ氣ノ毒ダシ、又ドウ
モ效果モ少イヤウニ思フカラト云フコ
トデアッテ、同業組合ノ岐阜縣、愛知縣
ノ代表者ハ丹下茂十郎君ノ方ハ鞍替ヘ
シタト云フ有様デアル、所ガ丹下君ハ
今請願委員會ノ主査トシテ、沼田君ニ
聽ケバ中ニ座リ込シテ此處ヘ出テ來ナ
イト云フコトデアアル、ダカラ私カラ今
商工大臣ノ御話ニナッタ二點ニ付テ御
參考マデニ申シテ置キタイ、最近市場

○永田委員 委員會モ段々終リニ近付
キマシタノデ、吾々關稅委員ハ態度ヲ
決セナケレバナラナイ時期ニ達シテ居
リマス、就キマシテハ只今商工省關係

○町田國務大臣 實際ノ事情ヲ申上ゲ
タ方ガ宜イト思ヒマス、今ハ關稅調查
會ノ幹事會ニ掛ッテ居リマス、草案ヲ作
リ掛ッテ居リマス、ソレガ濟ミマシテ、
關稅調查會ニ正式ニ掛リマシテ、成案
ヲ得ルマデニハマダ多少ノ時日ヲ要ス
ルト思ヒマス、併シ農林當局ト致シマ
シテハ、日本ノ森林政策ノ根本ヲ解決

○町田國務大臣 實際ノ事情ヲ申上ゲ
タ方ガ宜イト思ヒマス、今ハ關稅調查
會ノ幹事會ニ掛ッテ居リマス、草案ヲ作
リ掛ッテ居リマス、ソレガ濟ミマシテ、
關稅調查會ニ正式ニ掛リマシテ、成案
ヲ得ルマデニハマダ多少ノ時日ヲ要ス
ルト思ヒマス、併シ農林當局ト致シマ
シテハ、日本ノ森林政策ノ根本ヲ解決

○永田委員 只今商工大臣カラ高橋君
或ハ長田君ノ質疑ニ對シマシテ御答ニ
ナリマシタ金液ノ問題デアリマスガ、
最近ニ至リマシテ此金液ヲ使用致シマ
ス所ノ陶磁器業組合ノ上京シテ居ル代
表者ハ、奧村君ニ此以上陳情スルト云
フコトモ奧村君ニ氣ノ毒ダシ、又ドウ
モ效果モ少イヤウニ思フカラト云フコ
トデアッテ、同業組合ノ岐阜縣、愛知縣
ノ代表者ハ丹下茂十郎君ノ方ハ鞍替ヘ
シタト云フ有様デアル、所ガ丹下君ハ
今請願委員會ノ主査トシテ、沼田君ニ
聽ケバ中ニ座リ込シテ此處ヘ出テ來ナ
イト云フコトデアアル、ダカラ私カラ今
商工大臣ノ御話ニナッタ二點ニ付テ御
參考マデニ申シテ置キタイ、最近市場

ニ出シタト云フコトハ今月ノ二十日デアリマシタカ二十一日デアリマシタカ、六十「オンス」トカラ愛知縣ノ瀬戸町ノ陶磁器同業組合ニ提供ヲシタノデアリマス、サウシテ其成績ノ結果ガ丹下茂十郎君ノ所ヘ電報ガ來マシタ「ハノービヤ」會社ノ製品ニ遜色ナシト云フ電報ガ來タ、陳情ノ爲ニ陶磁器同業組合ヲ代表シテ來テ居ル委員ハ、丹下君ノ所デ其電報ヲ見テ驚イタ、御渡シニナツタ時間ト電報ヲ發セラレタ時間トノ間ガ餘リニ少イカラオカシイト云フノデ、陶磁器同業組合ノ代表者ガ打ツタノデアルカ知レマセヌガ、瀬戸町ノ同業組合ノ事務所デ打ツタ、ソレハ「センクバイル」ノ代表者ノ齋藤ト云フ人ガアリマスガ、其齋藤君ノ壓迫ニ依テ報告シタニ過ギナイ、斯ウ云フノデアル、其電報ヲ打ツタノハ向フノ事務所ニ關係ノナイ清水ト云フ人、其清水ト云フ人ハ從來カラ「センクバイル」ノ製品販賣ノ代理店デアアル、ダカラ最近ニ市場ニ出シタノハ、瀬戸町ニ於ケル愛知縣陶磁器同業組合ノ事務所ニ送ツタノデアアルガ、試験ヲセズニ「センクバイル」ノ品物ヲ從來扱ツテ居ル販賣代理店デ、「センクバイル」ノ重役デアアル齋藤某ノ壓迫ニ依テ、「ハノービヤ」ノ製品ニ遜色ナシト云フ電報ヲ打ツタ、今尙ホ試験中デアアルノニ電報ヲ打ツタ、其電報ハ丹下君ガ持ツテ居ル、其事情ハ沼田君ガ能ク御存知デアリマスカラ、私ハ今非常ニ

困難ナ立場ニ居リマスカラ、沼田君ニ說明ヲシテ貰ヘヌカト言ツタラ、ソノナコトハ丹下ニサセヤウト云フコトデアッタ、所ガ今委員長ニ伺ヒマス、商工大臣ハ非常ニ忙シイ所ヲ御出デニナツタ「ダカラ、午後ハイカスゾト云フコトデアッタカラ、茲ニ私ハ事實ヲ闡明シテ御參考ノ爲ニ申上ゲテ置キマス、ソレカラ今品質ノ上ニ於テ検査ヲスルコトニ於テ、専門家ガ嚴密ナル試験ヲシテ居ルノダト云フ御話デアリマスガ、需要者ノ方ハ眼デ見テソレデ善シ惡シヲ判斷シ、ソレデ需用者ノ嗜好ニ適スルノデアリマスガ故ニ、眼ハ中ニ正直ノモノデアルト當業者ハ言フテ居リマス、最近不景氣ニナツテ物ノ賣却ガ惡クナツテ來ルト、客ノ方デ眼ガ肥エテ來タトデモ言ヒマセウカ、中ニ小言ガ出マシテ、佛様、神様ニ進ズル佛具、神具ナドノ安物ハ成ベク「センクバイル」ノ品物デヤツテ居ツタ、所ガ是ハ色ガ黒イトカ何トカ云フコトデ、客ノ方カラ中ニ小言ガ出マシタノデ、ソコデ「ハノービヤ」ヲ幾ラカヅ、入レテ行クト艶ガ良イト云フノデ、小言ガ無クテ通ツテ行クト云フノデアリマス、是ハ専門家ガ試験ヲ爲サルト云フコトハ基礎デハゴザイマセウガ、一方需用者ハ眼デ見テ判斷ヲシテ行キマスノデ、幾分デモ「ハノービヤ」ノ製品ヲ入レルト得意先デ文句無シニ通ツテ行クト云フコトヲ當業者ハ言ツテ居ルノデアリマス、ソレカラ佛具ヤ神

具等ニ使フ金液ハ一體輸出ノ物ニ使ヒマシテ、使ヒ切レナクテ、ソレヲ翌日使ハウト思フト非常ニ揮發性カ何カアルノデスカ、蒸發シテ膠ノヤウニ固マル、之ヲ「テレビン」油デ溶クノデアリマスガ、「ハノービヤ」ノ品物デアルト云フト溶イテ直グ使ヘ得ルサウデアリマスケレドモ、「センクバイル」ノ方ハ中ニ使ヘナイ、ソレデ此方ハ善イモノニハ使ヘナイデ、佛具ナドノ安物ニ使フ、ソレガ爲ニ色ガ支ヘテ來ルト云フヤウナ事情モアリマス、是ハ専門家ガ色ニ學問上御研究ニナリマシタコトニ付テハ御話モゴザイマシタケレドモ、一般ノ需用者ハ唯眼デ見テ割ゲナイト云フコト、體裁ノ良イト云フヤウナコトニ重キヲ置イテ居ルト云フヤウナ事情デゴザイマスノデ、此點ハ特ニ申上ゲテ置キマス、市場ニ出マシタノハ二十日カ二十一日デゴザイマスガ、陶磁器同業組合ハ、ドウ云フ事情ヲ試験ノ結果申シテ來テ居ルカ知レマセヌガ、私ノ所ヘハモウ來ナイコトニナツテ居リマス

○長田委員 私ハ虚心坦懷ニ商工大臣ノ御説明ヲ伺ヒ、又奥村君ノ之ニ對スル辯明ヲ聞イテ居ルノデアリマスガ、實際商工省ノ中ニ甚ダ不愉快ナル空氣ガアルヤウニ思フ、ト云フノハ第一昨五十一議會ニ於テ稅番二百四十四ノ酸化「コバルト」ノ問題ニ對シテ、モ、實際奥村君其他カラ實例ヲ擧ゲテ屢説明ヲセラレタニ拘ラズ、是ハ大阪精煉所カラ出來上ツテ居ツテ、現ニ大正十三年ノ五月カラ賣リ始メテ、何封度賣ツタト云フコトヲ具體的ニ言ハレタ、是ハ十分ニ出來ルカラ安心シロト云フ御説明デアッタ、ケレドモソレニ満足セズニ此方カラ釋明シタケレドモ、遂ニ政府ハ其技師ノ説明ヲ重シトシテ、昨年ノ五十一議會ニ於テハ其儘稅番ガ通過シタ、一年經タナイ今日ニ於テ昨年ハ左様ナコトヲ言ツタカト云フヤウナ顔ヲシテ、白バクレテ此改正稅率ヲ御出シニナル、無稅ニナサルト云フコトハ、露骨ニ言ツテ代議士トカ或ハ立憲的政治家デアツタナラバ、本當ニ責任ヲ問ハナケレバナラヌ、唯是ハ無責任ナ幕ノ中ニ居ル技師デアルカラ、何モ言フコトハアリマセヌケレドモ、兎ニ角政府ヲ代表シテ言ツテ居ルノデアツテ、餘リ技師ノ説明ニ重キヲ置カレテ、所謂民衆ト云フベキカ、此商賣ニ從事シテ居ル所ノ當業者ノ聲ヲ餘リ聽カナイ、度外視シ過ル、矢張民衆ノ聲ヲ聽ク必要ガアル、況ヤ當業者ノ意見ヲ尊重シテ矢張當局大臣ハ御聽キナサルトコトガ必要デ、此一二ノ捉ハレテ居ル技師ノミノ聲ヲ御聽キナサルト云フコトハ、却テ商工大臣ノ威信ヲ傷ケルノミナラズ、政府ノ威信ヲモ傷ケルト思フ、況ヤ昨年ハアレ程答辯サレタモノヲ、本年ハ知ラヌ顔ヲシテ居ルト云フコトハ、能ク此事實ヲ證明シテ居ルト思フ、金液ノ問題ニ付テモ丁度ソレト同ジデアアル、金液ノ

問題ハ大丈夫デアルト言ッテ、大阪工業試験所デ發明シタノデアッテ、現ニ其製品ハ當業者ガ非常ニ満足シテ居ル、現ニ大阪ノ輸出業者ノ陶磁業ノ有力ナル人ヲ十名程集メテ販賣ノ會社ヲ成シツツアル、洵ニ私ノ如キ者等ヲ欺クニハ巧ナコトデアル、現ニ會社ヲ成シツ、アルト云フコトヲ言ッテ胡麻化シテ今日マデ來テ居ル、然ルニ只今御説明ヲ伺フト、ソナコトハ忘レテシマッテ、今漸ク試験ヲシタ結果、決シテ外品ニ劣ラス成績ヲ得タ、現ニソレヲ販賣シテ民間ノ當業者ニ於テモ満足デアルト云フ報告ヲ得タ、斯ウ白シク仰シヤッテ居ル、商工大臣ノ正直ナル御言明デアルカラ、全部無條件デ受入レタイケレドモ、併ナガラ今奥村君ノ御説明ニ依ルト、痛烈骨ヲ刺スヤウ御攻撃デアル、兩方竝ベテ見ルト、商工大臣ノ説明ハ一方ニ捉ハレタ技師ニ誤ラレテ居ルノデハナイカト思ヒマス、之ヲ奥村君ニ聞キマス、現ニ彼方ノ陶磁器組合ノ者ガ參ッテ、工政課長ノ竹内君ニ會ッタ所ガ、オ前達ハ運動費ニ一萬圓許リ使ッタト云フコトデハナイカ、ノミナラズ之ニ成功シタナラバ、成功謝金ガ附イテ居ルト云フコトデハナイカト言ハレタサウデアリマス、陶磁器組合ノ者ハ、何ヲ仰シヤル、吾ハ職工ノ集團デアル、一萬圓トコロカ千圓モ使ヒマセヌ、成功謝金、ソシナモノヲ何處ヘ誰ニ出スノデアリマスカト言ッタ所ガ、笑ッテ答ヘラレナカッタト云

フコトデアリマス、成程只今平野君ガ言ハレタト云フ、奥村君ノ言ハレタ問題ヲ伺ッテ見ルト、何ダカ此一部分ソコニハ厭ヤラシイ氣分ガアルヤウニ思フ、サウシテ昨年ノコトヲ本年ニ公開シテ平氣デ居ルト云フ、無責任ノ狀態カラ見ルト其空氣ガ大分支配シテ、大臣ノ權威ヲ損フノミナラズ、政府ノ威信ヲモ傷ケテ居ル、此場合ニ奥村君ガ言フガ故ニト云フヤウナ捉ハレテ脱シテ、虛心坦懐ニ當業者ノ言フ所ヲ聽イテ、正直ニ貴方ノ方カラ御説明ヲ受ケルコトガ宜イト思ヒマス、サウデナケレバ來年又恥ヲ受ケナケレバナラヌコトニナリハセヌカト云フコトヲ悞レル、此場合努メテ民意ヲ御容レニナリ、當業者ノ説ヲ御容レニナルコトヲ切ニ希望致シマシテ、奥村君ノ意見デアルガ故ニト云フ捉ハレテ脱シテ下サルコトヲ切望ニ堪ヘマセヌノデアリマス

○藤澤國務大臣 長田君ノ只今ノ御説明ハ確ニ傾聽致シマシタ、サウ云フ御意見ヲ承リマス以上、元々御承知ノ通り私ハ近來職ニ就イタ者デアリマシテ、將來ニ付キマシテハ十分ナ注意ヲ拂ッテ共ニ圖リタイト考ヘテ居リマス

○武藤委員長 今日ハ午前ハ此程度デ休憩シマシテ、午後一時カラ續イテ開會シマス

午後零時二十一分休憩

午後一時二十九分開議

○武藤委員長 午前ニ引續イテ會議ヲ開キマス、木暮武太夫君

○木暮委員 私ハ簡單ニ三點バカリ御伺シマスガ、此第四種糖ノ免稅ト云フモノガ社會政策的ノ效果ヲ持ツト云フコトノ爲ニハ、先ヅ第一ニソレガ直接ニ市價ニ影響スルト云フコトガ必要デアル、是ハ外ノ砂糖トノ關係デ値下リハアルマイト思ヒマスカラ、其點デハ社會政策的ノ效果ヲ果シテ、政府ノ言フヤウニ直グ現スコトハ疑問デハナイカト云フコトヲ聞キマシタ所ガ、ソレニ對シテハサウ云フコトハナイト云フコトヲ仰セニナリマシタ、是レ以上ハ議論ニナリマスカラ、是デ止メマス、進ンデ此第一種糖ノ消費稅ヲ減額致スト云フヤウナコトヲシテ、社會政策的ノ效果ヲ持タセヤウト云フノニハ、黒糖ノ消費額ガ將來相當ニ増加スルト云フコトヲ前提トシナケレバナラヌト考ヘル、我國ニ於テ年々優良糖ノ消費ガ累増シテ居ル時ニ、此第一種糖ノ減稅ト云フコトハ、寧ろ糖業者ノ利益保護ト云フ率直ナル理由ニハナルケレドモ、ソレガ黒糖ノ消費ノ増加ヲ期待シ得ナイ限リハ、餘リ社會政策的ノ效果アリト高唱スルコトハ、私ハドウ云フモノカト考ヘテ居リマスガ、如何デアリマスカ

○黒田政府委員 黒糖ノ消費ガ將來増加致サナケレバ、ソレノ消費稅ヲ輕減シ、負擔ヲ輕減致シマシテモ、社會政策的ノ目的ヲ達シナイデヤナイカト

云フ御意見デアリマスガ、黒糖ノ消費ト云フモノハ、御説ノ通り將來必シモサウ段々増シテ行クモノデハナカラウカト推察致シテ居リマス、是ハ砂糖ノ消費ノ傾向ガ自然上級品ニ移ッテ行クト云フ傾ヲ持ッテ居ルト云フコトハ、是ハドウモ認メナケレバナラヌト思フノデアリマス、今マデ砂糖ヲ使ハヌ者モ砂糖ヲ使フヤウニナリ、砂糖ノ惡イ物ヲ使ッテ居ッタ者ハ段々良イ物ヲ使フヤウニナッテ來ルト云フコトハ、自然ノ趨勢デアラウト思ヒマス、併ナガラ兎ニ角今日假ニ黒糖ト云フモノガ、或ハ九州、或ハ東北、北海道ニ於キマスル中産階級以下ニ消費サレテ居ルト云フ現狀カラ見マシテ、是等ノ人々ノ負擔ヲ輕減スルト云フコトハ、將來ハ假ニソレガ段々殖エテ行クモノデナイト致シマシテモ、是等ノ負擔ヲ輕減スルト云フコトハ、是ハ適切ナルコトデハナカラウカト考ヘルノデアリマス、尙ホ黒糖ニ付テハ左様デアリマスガ、乙、即チ樽入白下、或ハ第一種ノ丙、是等ハ普通ノ家庭デ使ハレマス所ノ花見ダトカ、或ハ天光ト云フモノ、材料トシテ使ハレルノデアリマス、ソレ等ノモノハ消費稅ガ安クナッテ來ルコトニナリマス、自然ソレ等ノ負擔モ輕減サレルノデアリマスカラ、單リ黒糖ニ付テノミ見ル譯ニハ行キマセヌガ、黒糖ニ付テ見マシテモ、ソレ等ノ消費者ノ負擔ヲ輕減シ、其他ノ一般ノ

モノ、負擔ヲ輕減スル、サウシテ全體ト致シマシテ只今御述べノヤウニ、段段高級品ノ方ニ移ルト云フ傾ハアリマスガ、併シ現狀相當ノ消費ガアリマスカラ、是等ノ負擔ヲ輕減スルト云フコトハ、現在ニ於キマシテソレ等ノ階級ノ負擔ヲ輕減スルト云フ目的ヲ達シ得ルト思ヒマス

○木暮委員 第二ニ御伺シタイコトハ、第三種ノモノヲ二圓、ソレカラ第四種第五種ノモノヲ六十五錢方引上ゲテ、一寸之ヲ見ルト大變消費者ヲ利益スルヤウニ思ハレマスガ、此關稅引上ノ方ト對照シテ見ルト、負擔ガ増加スルト云フコトヲ申ス者ガアル、斯ウ云フ計算ヲ示シタ人ガアル、ソレハ今第二種原料糖ヲ輸入シテ精製糖ヲ作ル場合ニ、今マデノ現行法ニ依レバ、其稅率ガ第二種糖ノ關稅ハ三圓十錢デソレカラ五種糖ノ消費稅ガ九圓、合セテ十二圓十錢ダケデアアルガ、今度ノ改正案ニ依ルト、關稅ガ三圓九十五錢デ、サウシテ第五種糖ノ消費稅ガ八圓三十五錢ニナルカラ、丁度二十錢方ノ消費者ノ負擔ガ増加スルト云フ風ニ私共ノ計算ハナルノデアリマスガ、是デモ尙且ツ消費者ノ負擔ヲ輕減シテ居ルト云フコトガ言ヘルカドウカ、之ヲ御伺致シマス

デアッタモノヲ、三圓九十五錢ニシテ八十五錢引上ゲテ、八十五錢ダケ原料糖ヲ關稅デ引上ゲ、サウシテ生産サレタル五種糖ニ付テ六十五錢下ゲマスカラ、結局二十錢上ルデヤナイカト云フ御疑問デアリマス、一應御尤デアリマスガ、是ハ今日ニ於テハ原料糖ガ二種糖デアルノデアリマス、是ハ過日モ一般的說明ヲ申上ゲマス際ニモ申上ゲマシタ通り、此關稅ノ關係ニ依リマシテ、皆色著ヲシテ二種デ來テ居ル、此二種ノ砂糖ヲ原料ト致シマシテ、ソレデ五種ヲ作ッテ居リマスガ、此改正ニナリマス、二種モ三種モ四種モ同ジ關稅ニ相成ルノデアリマスカラ、其原料トナルベキ所ノ砂糖ノ關稅ハ三圓九十五錢デ、八十五錢上ルノデアリマス、併シ今日ノ四種ノ砂糖、即チ二十五内外ノ砂糖ガ原料ニ使ハレルコトニナル、サウナリマス、五種ヲ作リマス生産費ニ於キマシテ、歩留リニ於キマシテモ從前ヨリ歩留リガ多クナル、又之ヲ白クスル爲ノ骨炭ヤ瀘過ナド色ニノ設備費ニ於キマシテモ從來ヨリ非常ニ輕減スルコトガ出來ルト云フヤウナコトカラ致シマシテ、生産費ノ上ニ非常ナ節約ガ出來ル、即チ茲ニ少クトモ二十錢ノ節約ガ出來ルト云フ考カラ、其二十錢ト云フモノヲ控除致シマスルト、六十五錢ト云フモノデ從來ノ關稅ト、同ジト見ルコトガ出來ル、二十錢ダケ上ガルト云フコトハナイ、ソレ故從來ヨリモ上ガラナイト云フコトヲ申上ゲ

タノデアリマス、ソレノミナラズ今日此消費稅ノ稅率ガ六十五錢デモ下ルト云フコトニナリマス、度々申上ゲタコトデアリマスガ、關稅ハ必シモソレダケ價格ヲ高メルモノデナイ、ソレハ一ノ防禦ノ障壁デアアル、此以外ニ於テ砂糖ノ價格ハ内地ノ生産狀況ニ依テ變テ來ル、消費稅ヲ課セラレタモノダケハ、當然ソレダケ價格ヲ増シテ消費者ノ負擔ニナルノデアリマスカラ、其當然消費者ノ負擔ニナル消費稅ヲ六十五錢下ゲマスカラ、縱シ是ハ一般關稅ガ上ツテモ從來ト同ジデアアル、然ルニ關稅ハ必シモ上ラナイノデアリマスカラ、從來ヨリ幾分力下ル傾ヲ持ッテ來ル結果ニナラウト考ヘテ居ルノデアリマス

○木暮委員 私ハドウモ只今ノ答辯ニハ満足致シマセヌケレドモ、進ンデ次ノ質問ニ移リマス、今回ノ關稅改正ハ矢張糖業者ノ利益保護ト云フコトニ重キヲ置イテ居ルダラウト思ヒマスガ、サウ理解シテヨロシウゴザイマスカ

○黒田政府委員 糖業者ノ利益保護カト云フ御話デアリマスガ、是ハ最初ニモ申上ゲマシタ通り、今回ノ改正ヲ致スニ付キマシテハ、ドウシテモ關稅ト消費稅ト關聯シテ攻究シナケレバナラヌ、兩方ヲ攻究スルニ付キマシテ、今日ハ御述ノ通り臺灣ノ製糖業者ト云フモノハ關稅ノ保護、或ハ糖業者ノ施設、政府ノ補助等ニ依リマシテ非常ニ進歩シテ居ル、併ナガラ是ハソレ等ノモノナク

シテ今日ノ狀態ヲ維持スルヤ否ヤト云フコトハ非常ノ問題デアリマスカラ、大體今日保護ノ狀態ヲ持續セシメヤウ、今日ヨリモヨリ多ク保護シヤウト云フノデアリマセヌ、今日ノ狀態ヲ維持スルト云フコトヲ主眼ト致シテ致シタノデアリマス、ソレト精製糖業者、是等モ略今日ノ狀態ヲ維持サセヤウ、サウシテ消費者ノ負擔ヲ輕減シヤウト云フノデ出來タノデアリマスカラ、今ノ精製糖業者ト云フ方カラ御覽下サイマスレバ、是ハ現在ノ保護ノ程度ヲ大體動カサナイ程度ニ致ス目的ヲ以テ立案致シテ居ルノデアリマス

○木暮委員 只今ノ御答辯ヲ伺フト、現在ノ保護ノ程度ヲ下サナイ範圍ニ於テ、積極的ニソレデハ保護ヲシテ、サウシテ此臺灣ノ現在ノ八百萬擔出來ル砂糖ヲ、更ニ千萬擔以上ニモ増加セシメテ、サウシテ自給自足ノ域ニ達セシメヤウト云フヤウナ意味ハ少シモ含ンデ居ラナイノデアリマスカ、ソレヲ伺ッテ置キマス

○黒田政府委員 製糖業者ノ保護ヲ大體現在ノ程度ヲ目安ト致シテ居ルノデアリマス、現在ト申シマスノハ、今日御承知ノ通り臺灣ノ砂糖ト云フモノハ一段生産額ヲ増シテ來テ居リマス、モウ少シ増シタナラバ自給自足ト云フ域ニモ達スルノデアリマスガ、是等ハ單ニ關稅バカリデナク、今後は等ノ生産高ヲ殖スト云フコトニ付テハ、色々他ニ

施設スベキ事ガアラウト思フノデアリ
マス、例ハ甘蔗ノ改良デアルトカ、或
ハ生産費ノ節約ヲシテ行ク、一甲歩餘
リノ收穫量ト云フモノヲ増シテ來ル、
收穫量ト申シマスノハ詰リ砂糖ノ收穫
量ヲ増シテ來ルト云フヤウナ所モ漸次
改良サレツ、居ルノデアリマスカラ、
是等ニ依テ將來此程度ノ保護ヲ致シテ
置キマスコトハ、今進ミツ、アル所ノ
氣運ヲ阻止スルコトナク進メルコトガ
出來ルト考ヘテ居ルノデアリマス

テモ、内地ノ消費ヲ到底滿タスマデニ
ハ行カナイ、ドウシテモ外國糖ノ供給
ヲ受ケナケレバナラス、然ルニ茲ニ現
行ノ程度ノ關稅ヲ維持スルトナレバ、
ソレダケ消費者ノ負擔ヲ重クスルノデ
ハナイカ、ソレデモ差支ナイノデア
カト云フ風ナ御質問ノヤウニ承ッ
デアリマスガ、臺灣ノ砂糖——マア臺
灣バカリデハアリマセヌガ、假ニ主産
地タル臺灣ニ付テ申シマシテモ、ソレ
ハ臺灣ノ砂糖ヲ十分ニ保護シテ自給自
足ノ域ニ達セシメヤウト云フニハ、或
ハ今日ヨリモ關稅ヲ高メルコトガ必要
ダト云フ議論モアラウト思フノデアリ
マス、併ナガラ關稅ヲ高メルト云フコ
トハ只今御述ニナリマシタヤウニ、尙
ホ今日ニ於キマシテハ外國糖ノ供給ヲ
受ケナケレバ未ダ臺灣ダケハ内地ノ
消費ノ全部ヲ滿ス譯ニ行カナイノデア
リマスカラ、消費者ノ點モ考慮シテ臺
灣ノ糖業ダケカラ考ヘマスト、或ハ尙
ホ關稅ヲ引上ゲルト云フ議論モ出マス
ケレドモ、併ナガラ一般ノ消費ト云フ
點ヲ考慮シマシテ、ソレデ先ヅ今日ノ
狀況ハ臺灣ノ製糖業モ進メテ行カセル、
若シ外國カラ來ル砂糖ヲ消費スル者ノ
負擔ヲ輕減スル趣旨デ關稅ヲ下ゲルト
云フ事ニナルト、折角發達シテ居ル所
ノ臺灣ノ糖業ニ脅威ヲ感ゼシメルコト
ニナリマス、ソレ故ニ先ヅ消費者ノ點
モ考ヘ、生産ノ方モ考ヘマスト、大體現
行ノ程度ヲ以テ現在存スル所ノ色々ナ

○木暮委員 私ガ聽イタ所ニ依ルト、
現在ノ消費量ハ一千一百萬擔デアリマ
スガ、是ハ四五年ノ中ニ千五百萬擔位
ニハ砂糖ノ消費量ト云フモノガ増加ス
ルダラウト言ッテ居ル、一方臺灣ノ方ハ
一千萬擔位ヨリ外ニサウ殖エナイデア
ラウト云フヤウナ意見ヲ私聽イテ居リ
マス、サウスルト此不足額ト云フモノ
ハ必ズ外糖ニ待タナケレバナラヌ場合
ニ、今ノヤウナ御心算デ詰リ供給ノ方
ヲ見テ、サウシテ需要ノ増加ト云フモ
ノハ餘リ眼中ニ置キマセヌ結果ハ、此
當然出テ來ル不足額ト云フモノノ外糖
ニ對シマシテハ、餘リ今回ノ如キ糖業
ノ利益ニ偏重スル結果ハ、消費者ノ打
撃ヲ招カスル、此五百萬擔ナリ六百萬
擔ニ對シテハ、消費者ノ負擔ヲ重クス
ルト云フヤウナ傾ハナイデセウカ、ソ
レガ一番聽キタイト思ヒマス

不便ヲ除キマシテ、大體保護ハ現在ノ
程度ヲ目安トシテ進ムコトガ適當ト考
ヘテ居ルノデアリマス

○木暮委員 現在ハソレデ宜シウゴザ
イマスガ、近ク五年ナリ、六年ナリ、サ
ウ遠キ將來デナク、近キ將來ニ於テ日
本ノ砂糖ガ幾ラカ——文化ノ進ムニ隨
テ砂糖ノ消費ガ増加スルト云フコトハ、
何處ノ國デモ同ジ事デアリマスガ、サ
ウスルト千五百萬擔位ニナッタ場合ニ
尙且ツ今ノ様ナ課稅デ置キマシタナラ
バ、臺灣ニ於テ其供給ヲ全部スルコト
ガ出來ルト云フ御考デアアルカドウカ、
日本ノ内地ニ於ケル消費高ト云フモノ
ガ此勢デ進ンダナラバ、近キ將來ニ必
ズ五百萬擔ナリ六百萬擔ナリト云フモ
ノハ外糖ニ仰ガナケレバナラスト云フ
御考デアアルカドウカ、其處ヲハ、キリ伺
ヒタイ

○村山委員 登錄稅ニ付テ成ベク簡單
ニ二三點御同致シタイト思ヒマス、登
錄稅ハ讀ンデ字ノ如ク、登錄稅ト私共
ハ考ヘテ居リマスルケレドモ、内容ヲ
吟味致シマスルト、不動産其他ノ船舶
等ノ所有權移轉ノ場合ニ於テ、不動産
ニ於テハ不動産價格ノ千分ノ三十三ト云
フ登錄稅ヲ取ルノデアリマス、登錄稅ノ
總額ハ私共ハ五千何百萬圓ト承ッテ居リ
マスガ、此中所謂賣買ニ依ル不動産取
得ハ千分ノ三十五マデ課ケテ居リマス、
是ガ三千五六百萬圓アルト云フコトヲ
承ッテ居リマス、矢張此不動産ト云フモ
ノハ思フニ地方農村、農村ニ非ズンバ地
方的斯様ナ土地產業ノ上ニ成立スル者
カラ多クヲ取ルノデアリマスカラ、
農村負擔ノ輕減ヲ圖ラムト欲スレバ、
農村ニ於ケル田畑、山林或ハ宅地ト云

○黒田政府委員 只今御質問ノ趣旨ハ
臺灣ノ生産高ハ今後殖エルト致シマシ

行ノ程度ヲ以テ現在存スル所ノ色々ナ

○黒田政府委員 臺灣ノ糖業ノ將來ニ
付キマシテハ、是ハ私ヨリモ或ハ臺灣
ノ當局カラ説明申上ゲタ方ガ宜クハナ
イカト思ヒマスケレドモ、私ノ承知致
シテ居ル所ニ於キマシテハ、臺灣ノ砂
擔ガ今後色々ノ改善ヲ施シテ其生産ヲ
増シテ參リマス、段々今日内地ノ不
足シテ居ルモノヲ供給シテ行ク、然ラ
バコ、四五年ノ間ニ一方ニ於テ消費ガ
増加シテ來ル、其増加シテ來ル事マデ
見テ、四五年ノ間ニ自給自足ノ域ニ達
セシメルコトガ確ニ出來ルカト云フコ
トハ、是ハ茲ニ私ガ申上ゲルコトハ困

難デハナカラウカト思ヒマスガ、併ナ
ガラサウカト云ッテ將來ノ消費ノ増加ヲ
見込ンデ、今日關稅ノ保護ノ程度ヲ下
ゲルコトニ致シマスルト、折角今日伸
ビヤウトシテ居ル所ノ臺灣糖業ノ基礎
ニ脅威ヲ與ヘルコトニナリマスカラ、
先ヅ今日ニ於キマシテハ此程度ガ適當
デアッテ、將來ノ需要ト又生産トノ關係
臺灣ノ糖業ノ基礎ガ定マッタ時ニ於テ
ハ、或ハ關稅ヲ引下ゲテ消費者ノ負擔
ヲ輕クスルト云フノモノ、或ハ必要ナ時
ガナイトモ限リマセヌ、併シ今日ノ狀
況ニ於テハ此程度ガ適當デアルト考ヘ
テ居リマス

フモノ、賣買取得ニ對シテモ千分ノ三十三ト云フモノハ餘リニ重過ギルト云フコトヲ平生考ヘテ居ッタノデアリマス、既ニ過日モ私ガ御尋シタ如ク、不動産ヲ取得セル者ニ對シテ千圓ニ付十三圓ノ稅ヲ取ルト云フコトハ、登錄ノ手數ガ僅ニ五錢カ十錢ニ止マルモノヲ、價格ニ對シテ之ヲ取ルト云フ主義ハ、即チ財產ヲ取得セル者ハソレダケノ課稅ノ負擔能力アル故ニ、財產取得稅トシテ是ハ取ル斯ウ云フ主義ニ私ハ既ニ進ンダモノト思ヒマス、從來ハ手數料主義デアッタト思フ、登記所ノナキ以前ハ役場ニ於テ賣買ト云フモノハ公共ノ所謂裏書ト言ヒマスカ、奥書ト言ヒマスモノヲ以テ賣買ノ所有權ヲ確保スル、ソレガ登記所ニナツテカラ段々登錄稅ト云フモノガ、今日マデ進ンデ參リマシテ、千分ノ三十五、即チ不動産取得ニ對スル課稅ダ、斯ウ云フコトニナツテ參ッタノデアリマス、果シテ左様ナラバ何故ニ此財產取得ノ行爲ハ不動産ニノミ限ッテ取ルノカ、今日市場ニ賣買サレテ居ル所ノ有價證券、株券其他ノ物ニ對スル財產取得ニ對シテ何等一厘、半錢ノ課稅ガナイノデアアルガ、此農村地方ニ居ル者ハ其唯一ノ財產ハ不動産デアアル、第三種所得ノ課稅ハアルケレドモ、此資本家等ガ多クノ有價證券ヲ所有シテ、其賣買取得ヲ爲ス者ニハ、財產取得ノ行爲ニ對シテ之ヲ取ラヌト云フコトハ均衡ヲ失スルモノデアラウト云フコ

トヲ以テ、豫テカラ私共ハ大藏省ニ迫ッタ、此不動産取得千分ノ三十五ト云フモノヲ千分ノ五、若クハ千分ノ十二低減セヨ、其代リニ其財源ノ補填トシテ有價證券取得稅ヲ起シテ、動産モ不動産モ共ニ財產取得ノ行爲ニ對シテ課稅スベシト云フ主義ヲ確立シテ貫ハナケレバ、農村負擔ノ輕減ガ出來ナイト云フコトヲ以テ迫ッタコトガ數次アルノデアリマス、先程モ之ニ對シテ何故ニ政府ハ取ラヌノカト云フ時ニ、政府ノ之ニ對スル御答ハ、若シ今日ノ記名株式ニ對シテ之ヲ取ルトニ致シマスレバ、多クハ無記名株式證券ニ變ルデアラウ、無記名株式ナラ取ルトガ出來ナイト云フコトハ、今日ノ公債若クハ社債ノ無記名カラ矢張課稅スルコトガ出來ナイト同様ナ意味ニ於テ、株券モ漸次無記名株式ニナルデアラウカラ取レナイ、ソレデアアルカラ折角調ベテ見タケレドモ、其方ハ止メタ、斯様ナ御説明デアッタ、私ハ此答辯ハ主義ニ於テハ政府ハ動産モ、不動産モ、有價證券モ、宅地モ、同一ニ是ハ登錄稅ヲ取ルベキデアアルガ、無記名株式ニ變ルコトヲ恐レテ今猶豫シテ居ルト云フニ過ギナイト思フノデアリマス、私ハ或ル程度迄ハ是ガ爲ニ課稅ヲ受ケルト云フコトニナレバ、無記名株式ノ株券ハ相當多クハナルト思ヒマスケレドモ、今日ノ記名株式ガ悉ク皆無記名株式ニナルト云フ、左様ナコトハ即斷スルモノデアアリマセヌ、五分ヤ

一割ハ從來ヨリハ無記名株式ニ變ルデアラウト思フガ、併ナガラ今日ノ經濟情勢カラ考察致シマスレバ、毎年新設會社、又舊來ノ合資合名デアッタモノガ漸次株式會社ニナリ、株式ガ又増資サレルト云フ傾向ヲ見マス、縱シヤ無記名株式ニ變ル物ガ多少アリマシテモ、年々新設セラレルモノ、若クハ増資セラレルモノニ依テ、是レ位ノ缺陷ハ滿スコトガ出來ルモノト私ハ想定スルノデアリマス、取引所ニ於テ賣買セラレル所ノ轉賣、買戻シヲスル、或ハ實際ノ受渡ニ屬スルモノ、若クハ現物屋ニ於テ賣買セラレルモノハ、恐ラク年額ヲ通ジテ其價格五十億ハ下ルマイト思フ、假ニ五十億ト想定致シマスレバ、千分ノ二ヲ取リマシテモ一千萬圓ノ收入ガアル、千分ノ三ヲ取ッタラ一千五百萬圓、斯ノ如キ好個ノ財源アルニモ拘ラズ、今日地方デ最モ惱ンデ居ル不動産取得稅、現在デハ千分ノ三十五、之ニ地方稅トシテ更ニ千分ノ二十四課スルノデアリマスカラ、田畑山林等ヲ買受ケタル者ハ直ニ千分ノ六十ト云フモノガ取得稅トシテ消エルノデアリマス、地方ノ田畑山林ノ如キハ恐ラク一年ノ利廻リガ三分カ四分ノ間デアアル、財產ヲ一度取ッタト云フコトニ於テ二年分ノ收益ガ取立テラレルノデアアル、斯ノ如キコトハ今日ノ稅制整理ノ上ニ於テ都市資本家ト云フモノニ對スル保護ハ相當厚イケレドモ、半面ニ於テ農村ニ對スル待遇

ハ甚ダ虐待若クハ深酷ニ課稅ヲセシメルモノデアラウ、斯様ニ考ヘマス、此動産不動産トノ關係、其取得行爲ガ同一デアリナガラ何故ニ有價證券カラ取ラナイカト云フコトヲ更ニ御尋スルノガ第一點デアリマス、次ニ第二點トシテ御尋致シマスコトハ、不動産ト云フモノ、内容デアリマス、不動産ニハ土地ト致シマスレバ郡村宅地、市街宅地、田畑、山林、原野、池沼、鑛泉、色々ナ項目ガアリマスガ、大體ニ於テ市街宅地ト郡村宅地、田畑、山林、是等ノモノニ對シテ千分ノ三十三ト云フモノヲ均一ニ總テ課稅スルノハ如何ナル主義カラ出ルカト云フコトヲ御尋スルノデアリマス、等シク不動産デアアルカラ是ハ均一デモ宜イト云フナラバ、不動産ニ非ザルモノ、不動産ト稍性質ヲ同ジウスル所ノ船舶ニ於テ特ニ低減シテ、千分ノ三十三ト云フコトニセラレタノハドウ云フ譯デアラウカト云フコトヲ御尋スルノデアリマス、又既ニ登錄稅ハ所有權移轉ノ場合ニ於テハ財產取得ニ對スル課稅ナリト云フ主義ナラバ、其課稅セラレベキ物件ノ擔稅力ト云フモノヲ考査シテ、其間ニ稅率ノ差等ヲ設ケルノガ必要デアラウト思ヒマス、私共此不動産ノ内容ニ付テ擔稅力ノ輕重厚薄如何ト云フコトヲ考察致シマスレバ、今日地方ニ於テ田畑若クハ山林、原野ト云フ如キモノハ農村疲弊ノ現狀ニ鑑ミマスレバ、將來賣ル者ハ相當澤山アル

ケレドモ、買人が少ナイ、而シテ此價格ノ將來如何ト云フコトニナレバ、價格ハ將來騰貴スルト云フヨリハ寧ロ地方ニ於テハ價格ハ低下スル傾向ガアルノデアリマス、之ニ反シテ都市ニ於ケル市街宅地、若クハ八大都市ニ於ケル其近郊ノ宅地ト云フモノハ十年デ五割増ニナルカ、或ハ二十年デ三倍ニナルカ、兎ニ角今日迄ノ趨勢カラ見マシテ十年ニシテ一倍若クハ一倍半ノ騰貴ヲ見テ居ル、將來亦騰貴ノ趨勢ニアルト云フコトハ明ナコトデアリマス、然ラバ擔稅力ノ多キモノニ多キヲ負擔セシムルト云フ原則カラ見マスレバ、田畑、山林若クハ郡村宅地、市街宅地ノ間ニ其稅率ノ差等ヲ設ケナケレバナラヌ管デア

ルガ、之ヲ一視平等ニ取扱フト云フ主義ハ何カラ一體來テ居ルカ、又船舶ノ如キモノハ先程申シマシタ如ク特ニ他ノ一般不動産ヨリ安ク見テ居ル、斯様ナコトニ相成ツテ居リマス、是等ハ想フニ他ノ不動産ニハ恆久的、永續的性質ヲ持ツテ居ルガ、船舶ニハ一定ノ壽命ガアル、假令新シイ船デアリマシテモ海難ノ爲ニ船體ヲ失フト云フコトガアル、若クハ海難ニ遭ハザルモ二十年、二十五年ノ間ニ壽命ガ盡キテ之ヲ解體シナケレバナラヌ、斯ウ云フ意味ニ於テ他ノモノヨリモ船舶ノ稅率ハ低ク扱フガ當然ダ、斯様ナ主義カラ或ハ來テ居ルカモ知レマセヌ、若シ左様ナラバ不動産ノ場合ニ於テ家屋土藏ト云フモノ

ハ、是ハ恆久的的性質デアルヤ否ヤ、家屋ハ船舶同様ニ、火災ノ爲ニ燒ケルコトガアリマス、燒ケザルモ三十年カ四十年ヨリシカ持續スル性質ヲ持ツテ居リマセヌ、之ヲ田畑山林等ノ如ク永久的的性質アル物ト同様ニ課スルト云フコトハ何故デアルカ、此點ニ付テ承リタイノデアリマス、更ニ承リタイコトハ、山林賣買ノ場合ニ於ケル立木ノ價格ニ對スル課稅デアリマス、吾々ガ登記所ニ參リマシテ、山林一段歩幾ラト云フ評價ヲ以テ賣買ノ登記ヲ申請スルノデアリマスガ、之ニ立木ガアルトスレバ、立木ト土地ト一體ヲ爲スモノトシテ、矢張り千分ノ三十五ヲ課稅スルノデアリマス、御承知ノ如ク土地ハ永久的的性質ヲ持ツテ居ルコトハ言フマデモナイ、去リナガラ立木ヲ買受ケマシテモ、五年ノ後ニ伐ラレルカ、十年ノ後ニ伐ラレルカ、二十年ノ後ニ伐ラレルカ、是ハ決シテ永久的的性質ヲ持ツテ居ルモノデナイ、然ルニモ拘ラズ之ヲ永久的的性質アル物ト同様ニ、山林ノ立木ニ對シテモ課稅ヲスルト云フコトハ、是ハ又一體權衡ヲ得タモノデアラウカドウカト云フノガ第三點デアリマス、更ニ又伺ヒタイコトハ、ソレハ第四點トシテ置キマスガ、山林賣買ノ場合ニ於テ、吾々ガ土地立木併セテ之ヲ賣買シタル時ニ於テ、此價格幾ラト云フコトヲ以テ申請書ヲ作ルノデアリマスコトハ、登記官吏ハ斯様ニ申スノデアリマ

スル場合ニハアルト云フコトヲ申スノデアリマス、無キ場合ニハ無シト申サナケレバナラヌガ、樹ガ植エテアリマセヌトスレバ、一反歩ノ評價ハ幾ラト云フコトガ登記所ニ標準ガ出來テ居ル、樹ガ植エテアリトスレバ、更ニ五割増トカ、若クハ四割増デアリマスガ、此立木ノ評價ト云フモノハ、十年ノ樹木ノモアレバ、二十年ノモアリ、三十年ノモアリ、四十年ノモアル、是ハ山林ノ狀態其モノ、現狀ニ依テ違フノデアリマスガ、登記所ノ之ニ對スル價格ノ査定ト云フモノハ、山林ノ素地ダケナラバ幾ラ、樹ガ植エテアレバ幾ラ、斯ウニ様ヨリシカナイノデアリマス、併ナガラ山林ノ素地ハ無論同一ノモノデアリマスケレドモ、立木ノ價格、其狀態ト云フモノハ五通りニ分ケルカ、十通りニ分ケルカ、山林ノ狀態、年齢ニ依リ價格ハ各違フノデアリマスガ、此違フノニ對シテ、樹ノ植エテアルノハ、幾ラト云フ、一ツノ標準シカ定メテアリマセヌ、是ハ一體稅務運用ノ上ニ於テ果シテ正シキヲ得タモノデアラウカドウカ、之ニ對スル取扱ノ御意思ヲ伺ヒタイノデアリマス、更ニ又伺ヒタイコトハ、登記所ニ於ケル不動産ノ價格ノ査定ト云フモノハ、司法省所屬ノ官吏ガ價格ノ査定ヲスルノデアリマス、併ナガラ其實際ハ、地方ノ町村役場、若クハ其他ノ機關ヲ通シテ、一通りノ價格標準ト云フモノヲ調査シテ、標準ヲ立テ、置クノデアリマ

スルナラバ、現在ニ於テ頗ル適當ナラザル取扱ノ施設デアアルカラシテ、之ヲ改ムル意思アリヤ否ヤト云フコトヲ伺ヒタイノデアリマス、是ハ第五點ニナルノデアリマス

○黒田政府委員 登録税ニ於キマシテ、登録税ハ御述ベニナリマシタ通り手數料ト云フ性質ノ外ニ、其財産權ノ移轉ニ際シマシテ、其財産ヲ取得シタ者ノ擔稅力ト云フモノカラ致シマシテ、登録稅ヲ課スルノデアルト云フコトハ御述ベニナリマシタ通りデアリマスカラ之ニ付キマシテハ詳シク申上ゲナイノデアリマスガ、今日ノ登録稅ガ不動産ニ重クシテ、有價證券等ノ動産ニ輕イ、或ハソレ等ノモノニ課ケテ居ラヌト云フコトハ權衡ヲ得ナイデハナイカ、不動産ノ移轉ニ付テ——賣買ニ付テ千分ノ三十五、今回ノ改正ニ依テモ千分ノ三十三ト云フコトハ極メテ重イ、何故ニ此有價證券ノ方ニ課稅ヲシナイカト云フコトデアアルノデアリマスガ、是ハ御說ノ通り大體ニ於キマシテハ現在登録稅ハ、不動産ノ方ニ幾分重イヤウニ吾等モ感ジテ居ルノデアリマス、ソレ故ニ不動産ノ方ヲ出來ルダケ輕減シタイト云フ考ヲ以テ此立案ヲ致シタノデアリマスガ、最初ニモ申上ゲマシタノデ御承知ノ通り、現下ノ財政狀態ニ鑑ミテ許サレタル範圍ニ於テノ改正デアアルノデアリマスカラ、負擔ヲ輕減スル爲ニ是等ノ稅率ヲ下ゲマスト云フコトニ

相成リマスト云フト、御述ベニナリマシタ通りニ賣買等ノ稅率ヲスルト非常ナ歲入ニ影響ヲ及ボスノデアリマス、ソレ故ニ財政上許シ得ル範圍内ニ止メテ居ル次第デアリマスカラ、是ガ終局ノ理想デアアルカドウカト云フコトニ付キマシテハ、多少議論モアラウカト思フノデアリマス、併ナガラ是ト權衡ヲ得ナイカラ、有價證券ノ方ニモ課稅ヲスルト云フコトニ付キマシテハ、御說ノ通り不動産トノ權衡上有價證券等ニモ、移轉ニ際シ相當ノ課稅ヲ致スト云フコトハ適當デナカラウト云フコトニ付キマシテハ攻究ヲ致シタノデアリマス、攻究ヲ致シタ結果ニ付キマシテハ、只今村山君ガ大體御述ベニナッタヤウナ趣旨デアアルノデアリマス、今日ノ有價證券ハ株式ニ付テ御述ベニナリマシタ所ハ、大體ハ記名式デアアル、ソレガ無記名ニナッタ所ガ大シタコトハナカラウト云フ御話デアリマスガ、併ナガラ社債等ニ於キマシテモ、或ハ公債等ニ於テモ、是ハ無記名ガ多イノデアリマス、ソレ故ニ有價證券全體ヲ通ジテ見マスト、無記名ノモノガ澤山アルノデアリマス

是等無記名ノモノニ對シマシテ登録稅ヲ移轉稅ト云フ風ナモノヲ取リマスト云フコトハ、是ハ實行上ニ於テ極メテ困難ナノデアリマス、是ハ外國ニ於キマシテモ多少サウ云フ試モアッタヤウデアリマスガ、多クハ實行上ノ困難ニ遭遇シテ居ルヤウニ考ヘテ居ルノデ

アリマス、ソレ故ニ唯記名ノモノダケニ之ヲ取ル、サウシテ無記名ノモノハ取ラナイト云フコトニナリマシテハ、是ハ負擔ノ公正ヲ失スルコトニナルノデアリマス、殊ニ又其多クノモノハ無記名デアアルノデアリマスカラ、之ニ對シマシテ課稅ヲ致スト云フコトハ困難デアアル、併シ現行ノ登録稅法ニ於キマシテ、左様ナル方面ニ於テ多少負擔ノ能力アリト認メマヌル所ノ社債ノ如キニ於キマシテハ、短期ノモノニ付キマシテハ稅率ヲ据置キ、若クハ引下ゲマシタガ、普通發行セラル、長期ノ社債ニ付キマシテハ稅率ヲ引上ゲテ居リマス、是等モ多少不動産トノ權衡ヲ一面ニ於テ取ル考ヲ以テ引上ゲタ次第デアアルノデアリマス、ソレカラ次ニ不動産ニハ種類ガ澤山アル、宅地ニ付テモ郡村宅地ト市街宅地、田畑、山林ト、各種ノ利用上ノ不動産ノ區別ハ澤山アル、又其價格ト云フモノモ、山林田畑ノ如ク寧ロ其價格ノ低下スル傾向ヲ持ッテ居ルモノト、宅地ノ如ク上ル所ノ傾向ヲ持ッテ居ルモノトアル、其不動産ノ種類ニ依テソレト、擔稅力ガ違フト考ヘラレルニモ拘ラズ、之ヲ一樣ニ取扱フ理由ハドウデアアルカト云フヤウナ御尋デアリマス、是ハ御說ノ通り不動産ニハ種々ノ種類ノアルコトハ勿論デアリマス、併ナガラソレニ依テ自ラ不動産ノ價額ト云フモノモ違ッテ來ルノデア

リマス、宅地ト山林原野トノ價格ハ、ソ

レ等ノ利用價值等ニ依テモ自ラ時價ガ違ッテ來ルノデアリマスカラ、其時價ヲ標準トシマシテ課稅致シマスレバ、其間ニ於テ負擔ノ均衡ヲ得ルコト、考ヘテ居ルノデアリマス、特ニ之ヲ分ケルト云フコトハ、登録稅トシテハ如何デアアルカト考ヘルノデアリマス、ソレカラ不動産ト船舶ト稅率ヲ異ニスル、船舶ヲ輕クシテ居ル、是ハ船舶ヲ輕クシマシタ立法ノ當時ノ理由ニ付キマシテハ、私共ハ十分ニ正確ニ其理由ヲ調査致シマシタガ之ヲ究メルコトガ出來ナカッタノデアリマス、ケレドモ併シ今日違ッテ居ル所ノ趣意ハ、大體ニ於キマシテ只今御述ニナリマシタヤウニ、船舶ニ付キマシテハ、不動産等ニ較ベマヌルト云フト恆久性ト申シマスカ——

恆久性ト云フ言葉ハ語弊ガアルヤウデアリマスガ、減失等ノ危險モアリ、段々減價シテ行クト云フヤウナコトモアルノデアリマシテ、多少一般ノ不動産トハ違フ、然ラバ家屋トハ同ジデハナイカト云フヤウナ御話デアリマスガ、家屋トハ多少似テハ居リマセウ、併ナガラ船舶ノ方ガソレカラ見マシテモ多少危險性ヲ帶ビテ居ルヤウニ思フノデアリマス、ノミナラズ船舶ト云フモノヲ當時獎勵スルト云フ趣旨モ含ンデ居タカノヤウニモ承知致スノデアリマス、ソレ等ノ點カラ區別シテアルヤウデアリマス、今回ノ改正ニ於キマシテモ、ソレ等ノ點ヲ見マシテ、先ヅ現行ノ通り

ニ、大體此開キヲ存スルト云フ趣意ヲ以テ立案ヲ致シタノデアリマス、ソレカラ次ニ立木ノ價格ヲ山林ノ價格ノ中ニ含メルカ、含メナイカト云フヤウナ御話デアリマシタガ、是ハ立木モ山林ト一體デ、別ニ立木トシテ登錄サレテ居レバ格別デアリマスガ、立木ニ關スル登記ノ法律ニ依リマシテ、別ニナッテ居ルモノハ格別デアリマスガ、左様デアリマセヌケレバ、一體トシテ其時價ヲ見テ課稅ヲ致シテ居ルヤウニ思フノデアリマス、是等ノ立木ハ色々アル、長イモノモアリ短イモノモアル、早ク伐ルモノ、遅イノモアルト云フ御話デアリマシタガ、併ナガラ是等ハ大體時價ト云フモノ——若木ト成長シテ居ル木トアリマス、其山林ニ付テハ自ら時價モ違フト考ヘルノデアリマスカラ、ソレニ依テ負擔ノ均衡ヲ得ル事ト考ヘルノデアリマス、山林ノ登記ノ場合ニ於テ、立木ガアルカ無イカト云フコトニ依テ標準ヲ作ッテ、ソレニ依テ登記スル、立木ノ成長ノ程度ト云フモノモ考ヘテヤッタラドウカト云フ意味ノ御話ガアリマシタガ、登記所ノ事ニ付キマシテハ、是ハ私ノ方ノ直接ノ所管デアリマセヌガ、登記所ニ於テ登記ヲ致シマスルモノニモ、時價ニ依ルト云フコトニナッテ居リマス、時價ノ評定ノ最モ正確ヲ期シマスレバ、勿論御説ノ通り一々其山林ニ就テ、其山林ノ立木ガ何ノ樹種デアッテ、如何ナル程度ニ成長シ

テ居ルモノカト云フヤウナ事柄ヲ十分ニ見ル、若シ申告ガ假リニ誤リデアルトスレバ、實地ニ就テ見ルコトガ正確デアルト思ヒマス、併ナガラ申告モ大體ノ標準ニ依テ致スト云フコトハ、實際ノ取扱ニ於テハ或ル程度マデ已ムヲ得ザルニ出テ居ルデナカラウカト考ヘテ居ルノデアリマス、ソレカラ登記所ニ於テ登記ヲ致シマスル時價ト云フト、大體登記所デ標準ヲ拵ヘテ居ル、其標準ハ色々ナ所ニ照會シテ、三年前ニ作ッタモノモ、二年前ニ作ッタモノモアル、然ルニ價額ガ下落シテ來テモ、ソレヲ動かサヌト云フ風ナ御話デアリマシタガ、是ハ登記所ノコトデアリマスカラ、私カラサウ云フコトニ付テ責任ヲ以テ御辯明申上ゲルノハ如何ト思ヒマスガ、是モサウ云フコトガ起リマスレバ、成ベク時々直スベキデアリマスルガ、サウ正確ニ直セナイ、多少遅レルコトモアラウト思ヒマス、是ハ實際ニ時價ニ合セルヤウニ努メル積リデアラウト考ヘテ居リマス、サウ云フ風デアルカラ、寧ろ是ハ稅務署ガ貸賃價額等ノ調査ヲシテ、其際ニ時價等モ調ベルノデアアルカラ、稅務署デ課稅シタラ宜イデナイカト云フ御話デアリマシタ、是モ一應御尤モノ御議論デアリマスガ、登記ヲ致シマスル事ト、ソレニ對シマシテ課稅ヲ致スト云フコトヲ別ノ機關ニ致シマシテ、登記ヲシタ後ニ於テ今度評定シテ徵稅スルト云フ風ナコトハ、是モ

實行上カラ見マスルト種々ノ不便ガアルト思ヒマス、是モ如何カト考ヘルノデアリマス、絶對ニ是ハイカヌト云フコトヲ私ハ申上ゲル趣意デアリマセヌガ、今日ノ改正ノ際ニ於テ之ヲ俄ニ變更スルト云フコトガ、適當デアルト云フ考モ致サナカッタノデアリマス、先ヅ今日ニ於テハ現狀ニ依リマシテ、成ベク登記價額ト云フモノヲ適正ニ近イヤウニ工夫シテ行ク、ソレニハ此後ニ於テ登記所ニ於テモ、稅務署等ニ來ラレマシテ、色々稅務署ノ相續稅ノ課稅標準ヲ調ベルトカ、或ハ其他ノ貸賃價額ノ調査等ノ資料モ利用シヤウト云フヤウナコトニ相成ッテ居リマスカラ、お互ニ連絡ヲ取りマシテ行キマシタナラバ、時價ニ近イモノ、其時ノ價額ニ近イモノヲ常ニ保チ得ルコトガ相當出來ルモノデナカラウカト云フ風ニ考ヘテ居リマス、併シ將來ノ永久ノ制度トシテ果シテ、ソレガ動カスベカラザルモノデアアルカドウカト云フコトニ付テハ、尙十分攻究ヲ要スル問題デアルト考ヘテ居リマス

○武藤委員長 村山君モウ宜ウゴザイマスカ
○村山委員 宜シウゴザイマス
○武藤委員長 御諮リヲ申上ゲマス、大體質問モ通告者全部質疑ヲ終了シマシタ、尙ホ書面ヲ以テ回答ヲ取ル分モアリマスルガ、ソレ等ノ分ニ付キマシテハ更ニ又次ノ會ヲ開ク時迄留保致シマシテ、先ヅ大體質問終了トシテ差支ゴザリマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ〕
○武藤委員長 御異議ナイト認メマス、就テハ此政府提出ノ登錄稅法中改正法律案、印紙稅法中改正法律案、砂糖消費稅法中改正法律案、關稅定率法中改正法律案、商事非訟事件印紙法中改正法律案、明治四十年法律第二十一號中改正法律案、此六案ニ對シテ小委員ヲ設置致シマシテ審議ヲ致シタイト思ヒマスルガ、小委員ノ數ヲ九名トシ、其選舉ノ方法等ハ如何致シマスカ、御諮リ申上ゲタイト思ヒマス
○長田委員 選舉ノ方法ヲ委員長ニ一任致シマシテ、總テ委員長ノ御意見ノ通りニ贊成ヲ致シマス
○武藤委員長 念ノ爲メ申上ゲテ置キマスルガ、九名ノ委員ヲ指名致シマシテ、委員長モ之ニ加ハルノデアリマセウカ
○長田委員 勿論サウデス
○武藤委員長 左様取計ヒヲ致シマシテ委員長ノ指名ニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ〕
○武藤委員長 ソレデハ直ニ御指名申上ゲマス
○永田委員 本黨ノ諸君ガ居ラレマセヌデ、始メノ方ヲ能ク聞キマセヌヤウデスカラ、モウ一度非公式ニ……
〔速記中止〕
○武藤委員長 直ニ指名致シマス、奥

村千藏君、森田茂君、永田善三郎君、長田桃藏君、高橋熊次郎君、山本芳治君、禱苗代君、岩切重雄君、増田義一君、此ノ方ニ小委員ヲ御頼ミ申スコトニ致シマス、小委員會ハ明日午前十時ヨリ祕密會ヲ以テ開會致シマス、今日ハ是ユテ散會致シマス
午後二時三十六分散會